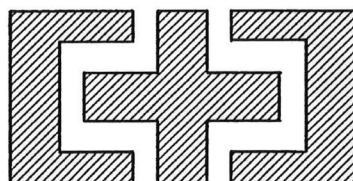


労働災害事例研究



はじめに（四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会長）
発刊によせて（四日市労働基準監督署長）
事例に学ぶ（四日市コンビナート地域防災協議会長）
1981～2024年休業災害358件の分類
2024年休業災害事例（11件）
1984～2024年不休業災害499件の分類
2024年不休業災害事例（25件）
四日市労働基準監督署管内「労働災害・死亡災害」発生状況
教育部会報告
おわりに
会員名簿

（第44集）

2025年6月

四日市コンビナート協力会社

災害防止協議会等連絡協議会

安 全

心 得

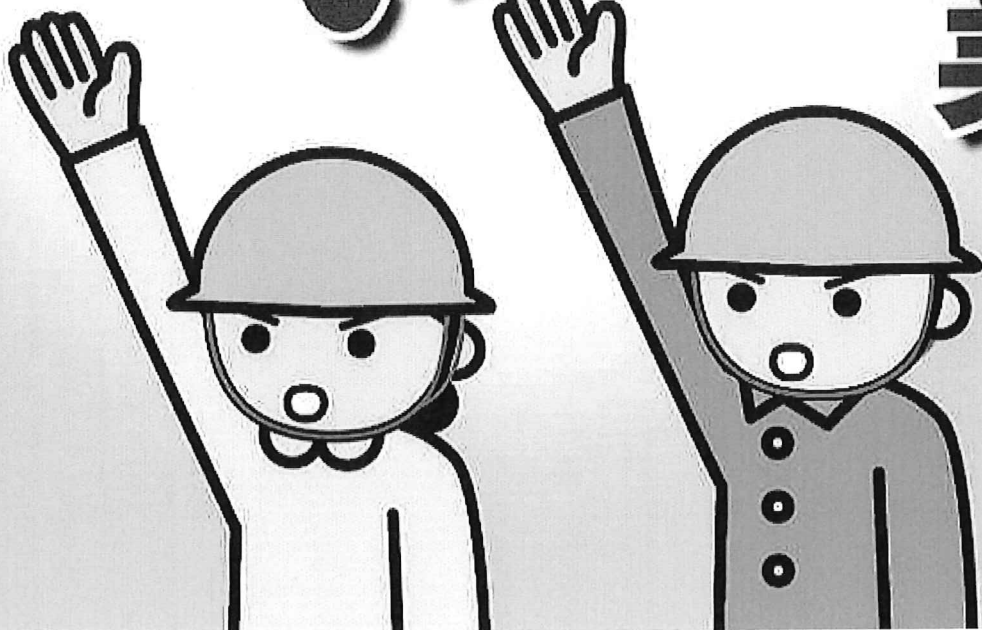
安全作業

職場の

誓い

家族の

願い



はじめに

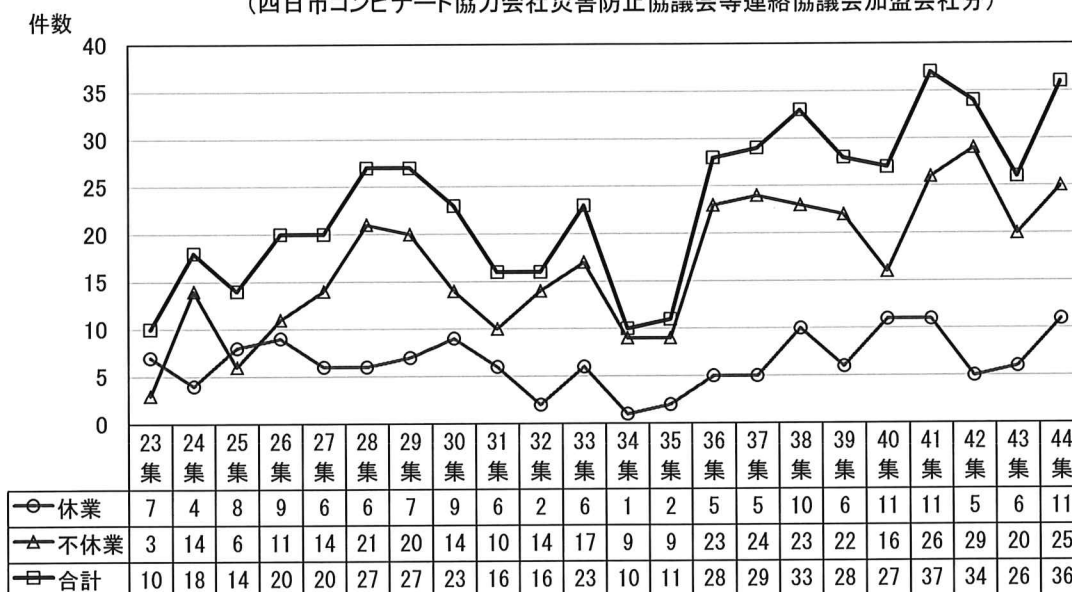
関係者のご協力により、労働災害事例研究第44集を発行することができました。

この事例集には、令和6年1月から12月までに当連絡協議会に加盟する企業で発生した労働災害として休業災害11件、不休業災害25件を収録しています。災害件数は、平成22年（第30集）から減少してきましたが、平成28年（第36集）より増加して現在に至っています。

事故の型別では、【転倒】が7件と最も多く、【墜落、転落】が6件、【激突され】が5件で【激突】、【切れ、こすれ】、【飛来、落下】および【高音・低温の物との接触】が3件で続いています。令和6年は、コンビナート特有の、薬傷やガス中毒などの【有害物等との接触】は2件で減少の傾向が認められました。

傷病名では【骨折】が12件と近年では多く、次いで【打撲】6件で続き、近年増加している熱中症（脱水症）は1件と最近では最も少なくなっています。

労働災害件数の推移
(四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会加盟会社分)



工事着手前には有害物質が完全に除去されていることが大前提です。プロセス上の理由等で工事環境を完全に整備できない場合には、客先と施工者は施工個所の環境を共有して、工事環境の再設定を行う必要があります。また必要な保護具の見直しなどの用心深い工事対応も必要です。工事着手後であっても異常を感じた場合は、ためらわずに工事を一時中断して客先と協議するようお願いします。

また、個人の不注意や不安全行動から労働災害に至ることのないようにルール遵守を徹底してまいりましょう。

この事例集を職場で有効にご活用いただき、労働災害の防止に取り組んで頂くよう重ねてお願い申し上げます。

令和7年6月

四日市コンビナート協力会社
災害防止協議会等連絡協議会
会長 岩野 淳作

発刊によせて

「労働災害事例研究」第44集の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会におかれましては、積極的に災害防止活動に取り組みいただき、心より敬意を表します。

さて、令和6年における当署管内の死傷者数は、新型コロナウイルスの罹患による労働災害を除いて、死亡者数は8人と前年比6人300.0%の増加、休業4日以上の死傷者数は、806人と前年比25人3.0%の減少（化学工業では21人（8人61.5%増加））となりましたが、当署目標である死傷者数777人未満の達成は出来ませんでした。

死傷者数を事故の型別で見ると、「転倒」が最も多く全体の24.1%、次いで「墜落・転落」15.9%、「動作の反動・無理な動作」15.1%を占めています。特に「転倒」においては年齢が高くなるに連れて多発し、高年齢労働者が50.1%を占めており、いわゆる「行動災害」の防止が課題となっています。

また、本年は第14次労働災害防止計画の3年目となり、三重労働局においても引き続き「死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ推進運動」を展開しており、皆様方には労働災害を防止するため、引き続き労使一丸となった安全衛生活動の取り組みをお願い申し上げます。

本年度の全国安全週間スローガンは、

「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」

です。

皆様方におかれましては、このたび発刊されます第44集を有効活用され、労使双方の安全衛生意識を高めるとともに、同様の災害を発生させないよう法令や職場の基本ルールが徹底されているか、また適切に実行できる業務体制になっているか改めてチェックを図ることで、第14次労働災害防止計画の目標達成の足掛かりを作ってくださいようお願いいたします。

最後に、皆様の職場で無事故・無災害が達成されますことをお願い申し上げ、発刊によせての挨拶とさせていただきます。

令和7年6月

四日市労働基準監督署長 三浦かをり

事例に学ぶ

「労働災害事例研究」第44集の発刊にあたり、防災協を代表して一言ご挨拶申し上げます。

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会におかれましては、昭和55年の発足以来、長きにわたり安全に関する取り組みを展開され、労働災害防止につながる活動に精力的に取り組まれてきました。これまでの四日市コンビナートにおける安全管理の向上に多大なるご尽力を賜り、改めて感謝申し上げます。

昨年は日本各地で大きな地震が発生しました。また今年3月末にはおよそ10年ぶりに南海トラフ地震の被害想定が見直しされました。最大クラスの地震、津波被害想定を知ることで、防災減災対策ができ被害が大幅に軽減できると考えられています。

労働災害においては、危険防止対策、安全教育、健康管理、安全衛生管理体制等々の活動を企業の重要施策と位置づけ推進することが重要となります。中でもKY（危険予知）の取組においては、作業に対する被災の最悪のケースを想定し、多くの意見を出し合い、対策を講じることが意識を高め労働災害を激減させることができます。少しでも多くの危険要因を削除し、安心して働ける職場環境を目指していきましょう。

貴連絡協議会のご尽力により、このたび第44集が発刊されることになり、改めて御礼申し上げます。この「労働災害事例研究」は発災事例がイラスト交えながらわかりやすく纏めて頂いております。本冊子を大いに活用いただき、四日市コンビナートで働く一人ひとりが労働災害撲滅に向け、安全意識の益々の向上がされます事を心より願っております。

最後に、貴連絡協議会の活動により、加盟される各社がより安全な作業を行い益々発展されますことを祈念して発刊のご挨拶とさせていただきます。

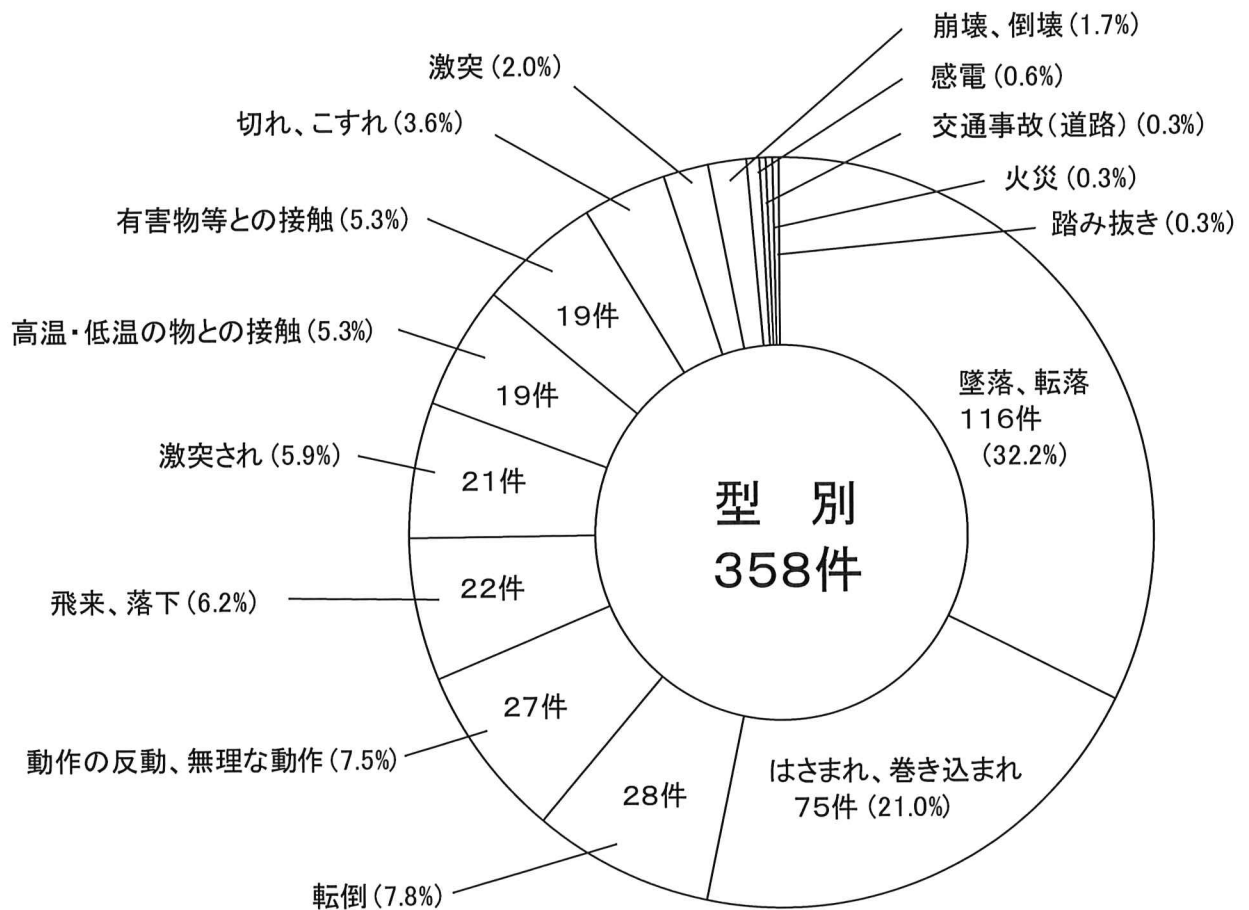
令和7年6月

四日市コンビナート地域防災協議会
会長会社
四日市合成株式会社
代表取締役社長 首藤 拓也

1981～2024年死亡・休業災害358件の分類

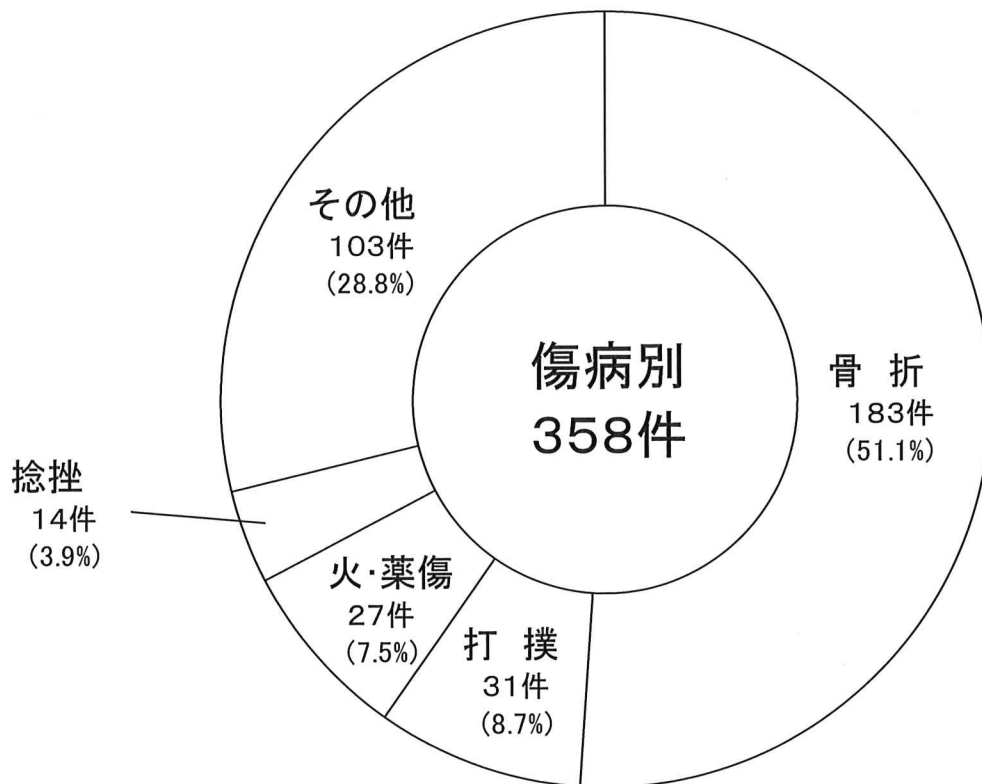
〔型別〕

	'81～'14	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
墜落、転落	102			3	3	2	2	2			2	116
はさまれ、巻き込まれ	66		3				2	2	1	1		75
転倒	16		1	1	1	1		2	2		4	28
動作の反動、無理な動作	13		1		1	2	4	2	1	2	1	27
飛来、落下	20				1						1	22
激突され	18							1		1	1	21
高温・低温の物との接触	15				2	1	1					19
有害物等との接触	14	1			1		1	1	1			19
切れ、こすれ	10	1					1			1	1	13
激突	3				1			1			1	7
崩壊、倒壊	5			1								6
感電	2											2
交通事故(道路)	1											1
火災	1											1
踏み抜き											1	1
おぼれ												0
爆発												0
破裂												0
交通事故(その他)												0
その他												0
分類不能												0
合計	286	2	5	5	10	6	11	11	5	6	11	358



〔傷病別〕

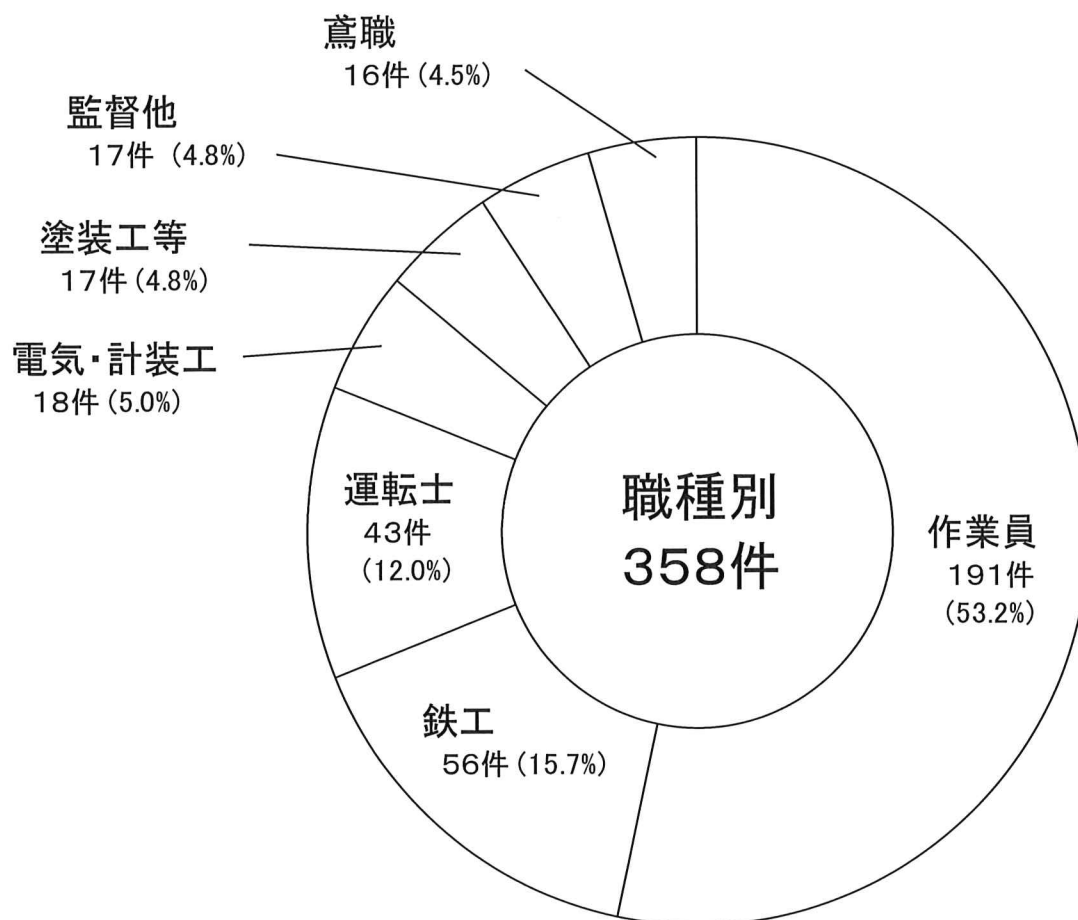
	'81~'14	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
骨折	154		3	5	4	2	4	5	1	1	4	183
打撲	26				1		1	2			1	31
火・薬傷	26						1					27
捻挫	8		1				1		1	1	2	14
その他	72	2	1		5	4	4	4	3	4	4	103
合計	286	2	5	5	10	6	11	11	5	6	11	358



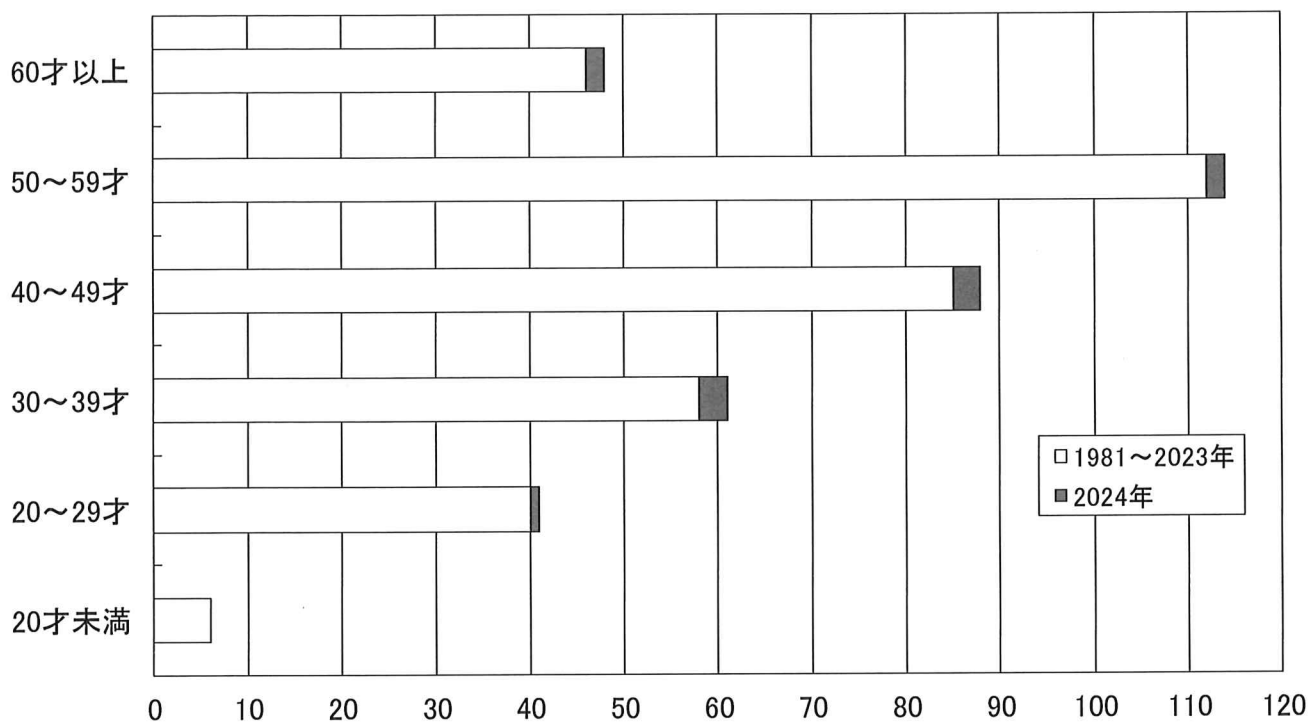
〔職種別〕

	'81~'14	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
作業員 (包装・運搬・清掃等)	143 (12)	2	4	3	4	5	4	7 (1)	4	5	10 (2)	191 (15)
鉄工 (組立・製缶・配管・溶接等)	51 (1)	0	0	0	3	1	1					56 (1)
運転士 (クレーン・トラック・リフト等)	35	0	0	0	2		3	2		1		43
電気・計装工	17	0	0	0	0			1				18
塗装工等 (含む大工・左官)	17 (1)	0	0	0	0							17 (1)
監督他	11	0	1	1	0		3 (1)				1	17 (1)
鳶職	12 (1)	0	0	1	1			1	1			16 (1)
合計	286 (15)	2	5	5	10	6	11 (1)	11 (1)	5	6	11 (2)	358 (19)

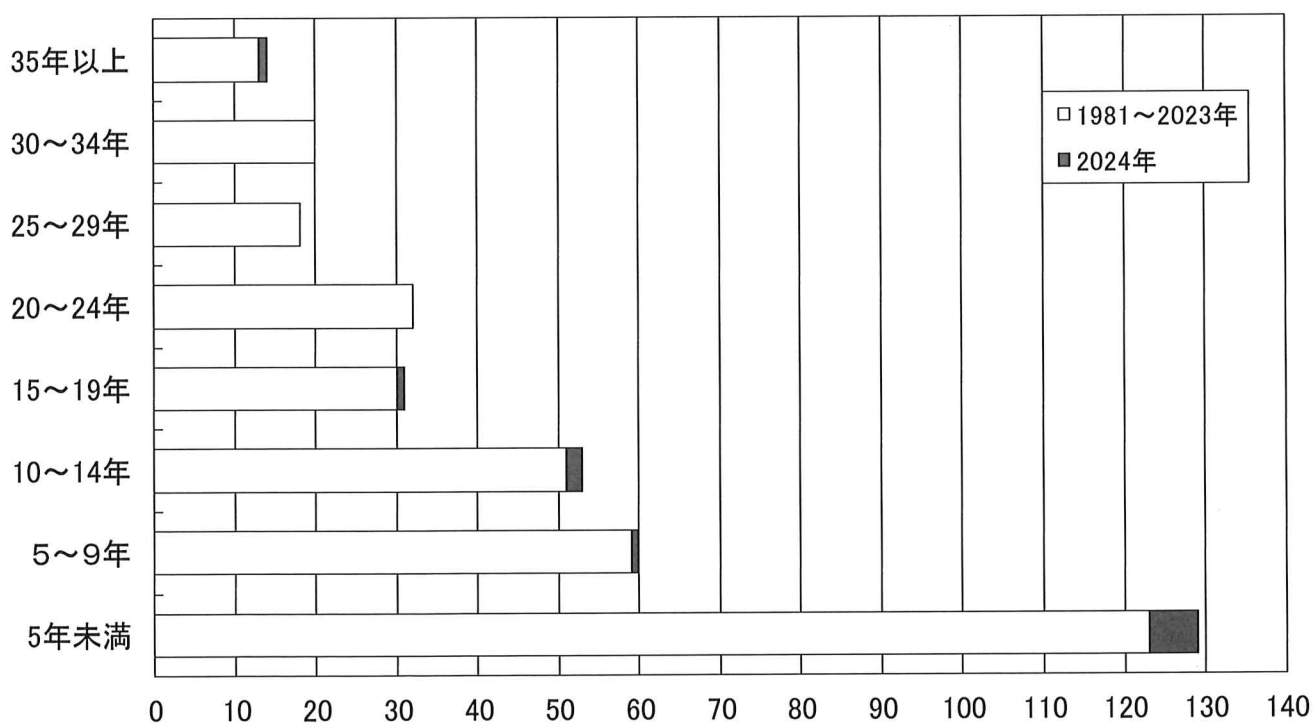
()内は死亡件数(内数で示す)



[年齢別]



[経験年数別]



〔度数率および強度率〕

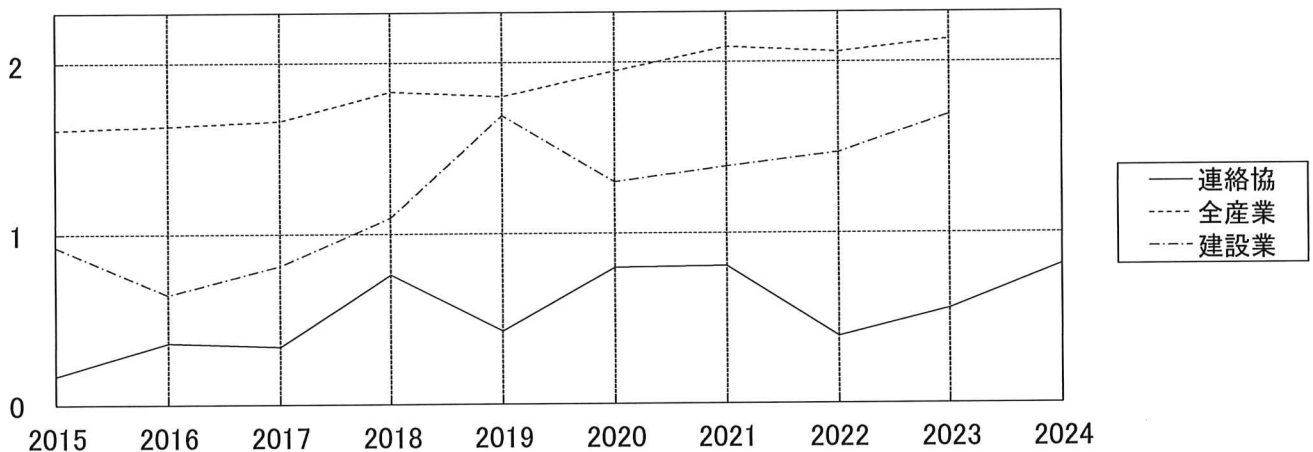
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
四日市 コンビナート 協力会社 (連絡協)	度数率	0.17	0.36	0.34	0.76	0.43	0.80	0.81	0.39	0.55	0.90
	強度率	0.00	0.02	0.03	0.03	0.00	0.72	0.57	0.01	0.02	1.24
	労働災害による 死傷者数	2	5	5	10	6	11	11	5	6	11
	延べ労働損失日数	36	260	467	398	67	9,908	7,744	103	235	15,191
	延べ実労働時間数 (万時間)	1,198	1,380	1,478	1,308	1,406	1,375	1,360	1,272	1,089	1,229
全産業	度数率	1.61	1.63	1.66	1.83	1.80	1.95	2.09	2.06	2.14	6月6日 時点で 未公表
	強度率	0.07	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	
建設業	度数率	0.92	0.64	0.81	1.09	1.69	1.30	1.39	1.47	1.69	
	強度率	0.21	0.11	0.18	0.30	0.29	0.24	0.41	0.22	0.29	

〔注〕1. 度数率には不休労災を含まない。

2. 全産業・建設業は、厚生労働省の統計による。

3. 協力は四日市コンビナート地域防災協議会の災害統計による。

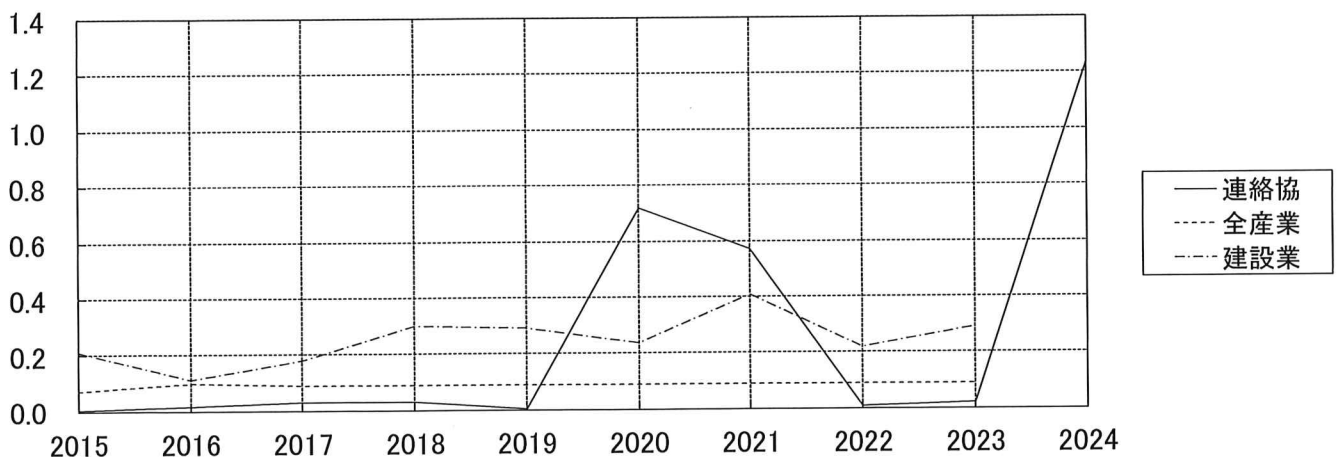
〔度数率の推移〕



$$\text{度数率} = (\text{労働災害による死傷者数} / \text{延べ実労働時間数}) \times 1,000,000$$

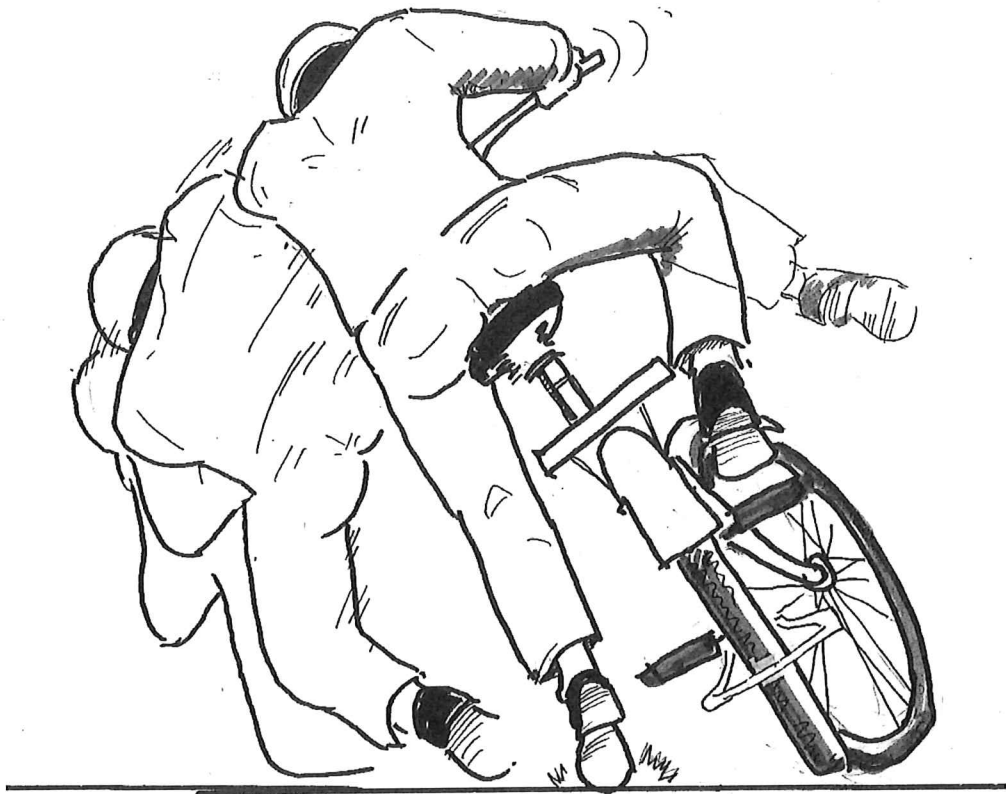
(100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって、労働災害の頻度を表すもの)

〔強度率の推移〕

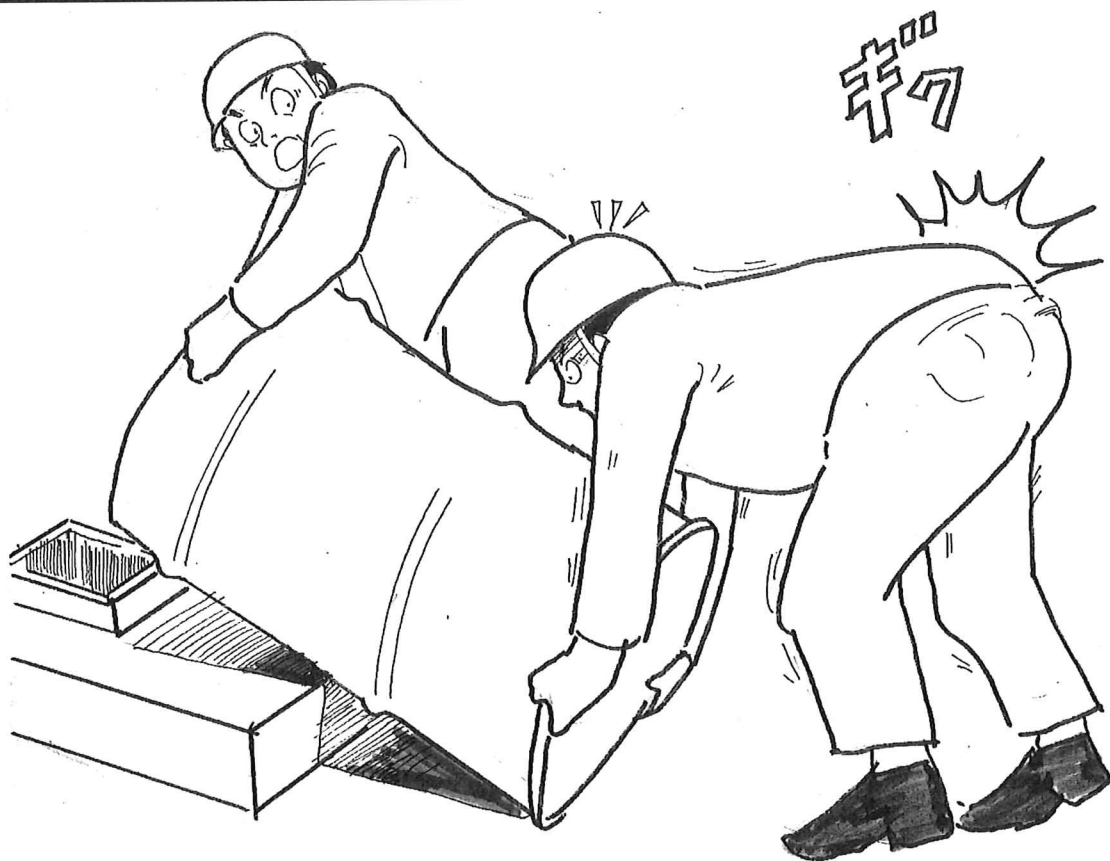


$$\text{強度率} = (\text{延べ労働損失日数} / \text{延べ実労働時間数}) \times 1,000$$

(1,000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表したもの)

災害事例 (休業1)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年2月6日(火)	9時50分	構内
職種:年齢:経験	作業員	68才	50年
発災時の作業内容	自転車を降りようとした際、サドルが高すぎたためバランスを崩して転倒し、膝をコンクリート舗装面に打ち付けた。		
傷病名:部位:程度	骨折	左膝	休業100日
事故の型:起因物	転倒		自転車
原因	不安全な状態	・適切なサドルの高さになっていなかった。	
	不安全な行動	・足が地面につかない状態で自転車から降りようとした。	
	安全管理上の欠陥	・サドルの高さ調整について指導していなかった。	
再発防止対策	・両足かかどが着地できるサドル高さに調整することを周知する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			


災害事例 (休業2)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年3月25日(月)	16時45分	構内
職種:年齢:経験	作業員	41才	4年11ヵ月
発災時の作業内容	ポリドラム(13kg)の内部洗浄を行うため、水(15kg)を入れて洗浄を行なった後、排出する時にドラム底部を持ち上げた際、腰に痛みを感じた。		
傷病名:部位:程度	急性腰痛症	腰	休業1日
事故の型:起因物	動作の反動、無理な動作		ポリドラム
原因	不安全な状態	・水を入れたポリドラム(28kg)が重かった。	
	不安全な行動	・重量物を無理な姿勢で持ち上げた。	
	安全管理上の欠陥	・重量物取扱い作業に対する基本動作を作業員に指導していなかった。	
再発防止対策	・重量物取扱い作業に対する基本動作を作業員に指導する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

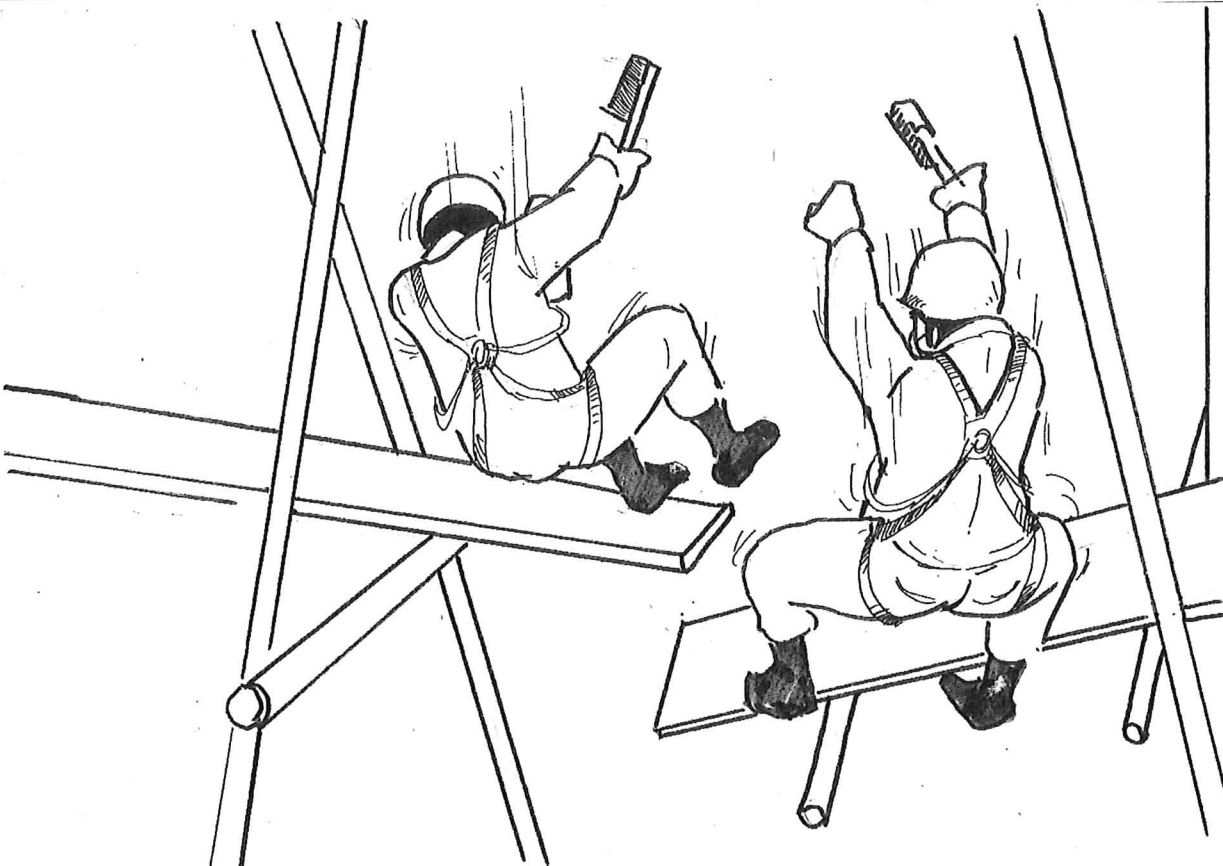


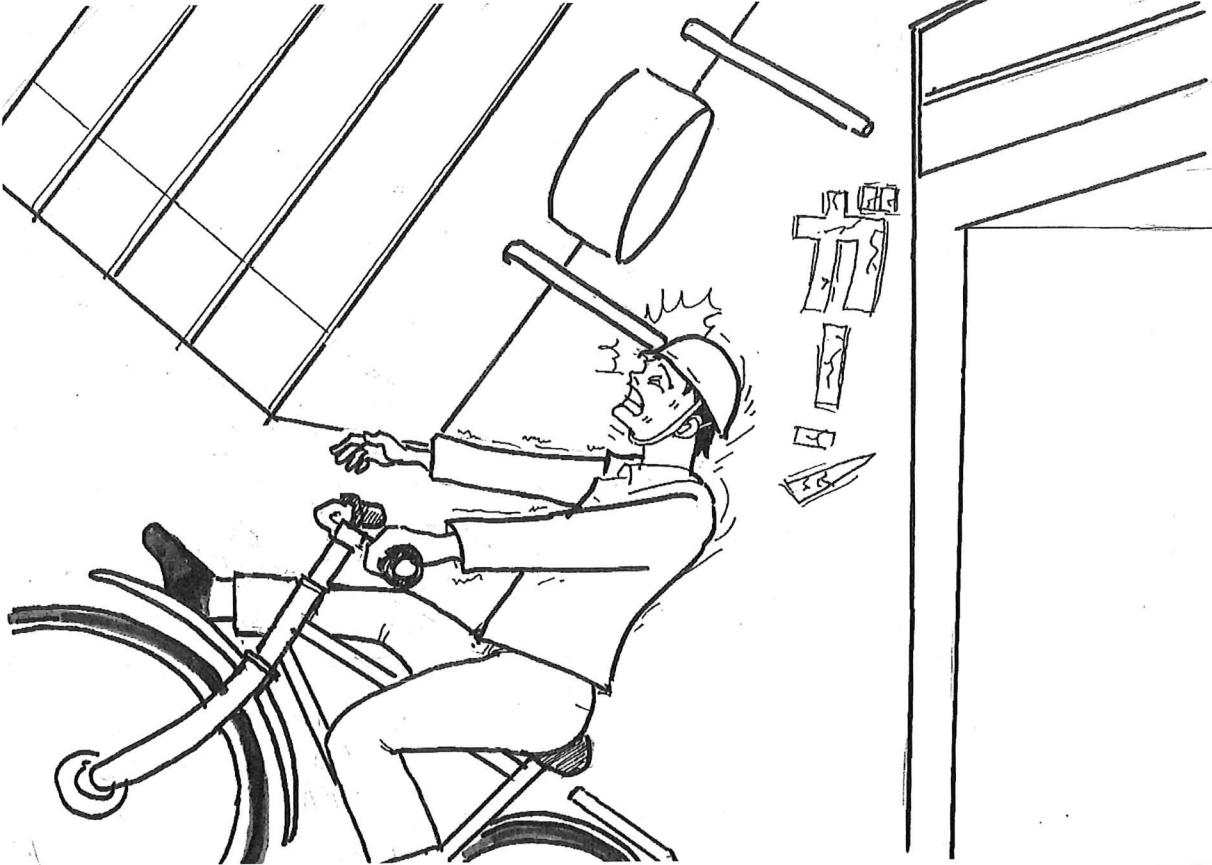
災害事例 (休業3)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年3月26日(火) 9時		プラント内
職種:年齢:経験	作業員 : 28才		7年
発災時の作業内容	調節弁本体のナットを締める作業で、打撃メガネが外れないように打撃メガネ柄を直接左手で押さえてハンマーを振り下ろした際、誤って左手を打撃した。		
傷病名:部位:程度	骨折 : 左手親指		休業2日
事故の型:起因物	激突され		ハンマー
原因	不安全な状態	・作業場所が暗くて、手元が良く見えなかった。	
	不安全な行動	・打撃メガネの柄を直接左手で押さえていた。	
	安全管理上の欠陥	・打撃メガネの正しい使用方法を周知していなかった。 ・作業時に照度を確保する指示をしていなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・打撃メガネを使用する際は、メガネの柄に治具を取付け直接手では押さえないようにする。 ・暗い場所は、作業用照明等を設置する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	


災害事例 (休業4)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年3月29日(金)	11時8分	構外道路
職種:年齢:経験	作業員	55才	7ヵ月
発災時の作業内容	解体作業現場で車両誘導員が、車両出入口の車道と歩道の段差(10cm)につまづき転倒した。		
傷病名:部位:程度	骨折	右肩	休業30日
事故の型:起因物	転倒		道路段差
原因	不安全な状態	・車道と歩道に段差があった。	
	不安全な行動	・段差に気付かずに歩行した。	
	安全管理上の欠陥	・誘導員に対して基本行動の教育が不十分だった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・段差の養生をする。 ・誘導員に対して基本行動(移動時には足元・周囲の確認)の教育を行い、現地で確認する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り



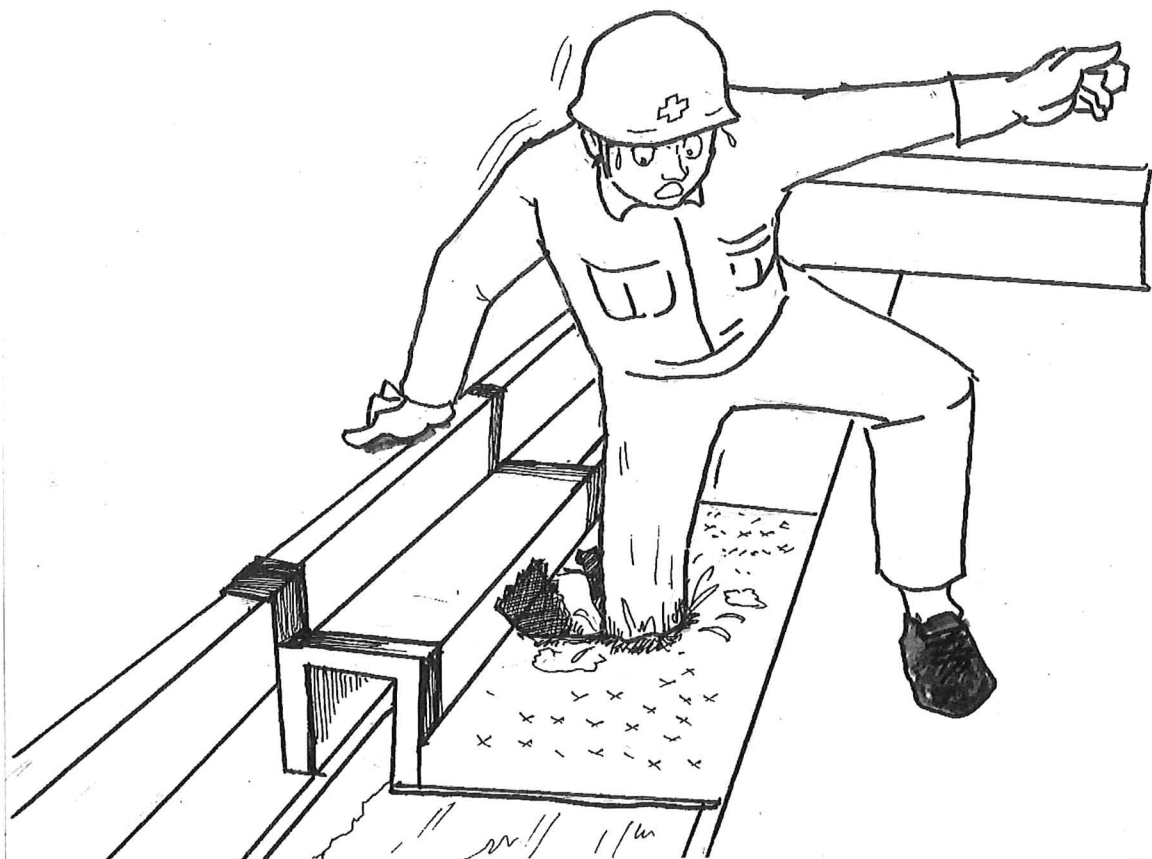
災害事例 (休業5)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年4月18日(木)	11時	構内
職種:年齢:経験	作業員	50才	2年
発災時の作業内容	トイレ清掃作業後、扉を開けて外に出ようとした際、ステップ(高さ15cm)上で靴を履きながら外に置いていた荷物を取ろうとした時、足を踏み外して転倒した。		
傷病名:部位:程度	骨折	右足	休業56日
事故の型:起因物	転倒		ステップ
原因	不安全な状態		
	不安全な行動	・靴を履きながら荷物を取ろうとした。	
	安全管理上の欠陥	・ながら行動禁止の指導が不十分だった。	
再発防止対策	・ながら行動禁止の再教育を行い、現地で確認指導する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		無し	
 <p>The illustration shows a female worker in a white uniform and cap walking on a raised platform (step). She is carrying a bucket in her right hand and is in the process of putting on her left shoe. Her left foot is caught on the edge of the step, causing her to lose her balance and fall forward. A male figure icon is visible on the door behind her.</p>			

災害事例 (休業6)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年4月25日(木) 16時		プラント内
職種:年齢:経験	作業員 : 42才、32才		19年、10年
発災時の作業内容	発電ボイラー清掃作業中に、炉内に設置してあった高さ25mの全面足場が崩落し、作業員2名が墜落した。		
傷病名:部位:程度	- : -		死亡
事故の型:起因物	墜落、転落		足場
原因	不安全な状態	・足場上にクリンカ(不燃物などが解け固まった塊上のもの)が堆積しており、積載荷重が超過していた。	
	不安全な行動	・積載荷重が超過した足場で作業していた。	
	安全管理上の欠陥	・足場の積載荷重が超過した状態であることを確認しなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・足場上にクリンカが堆積しない作業方法、作業手順で施工する。 ・積載荷重が超過とならないような堅固な足場を設置する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

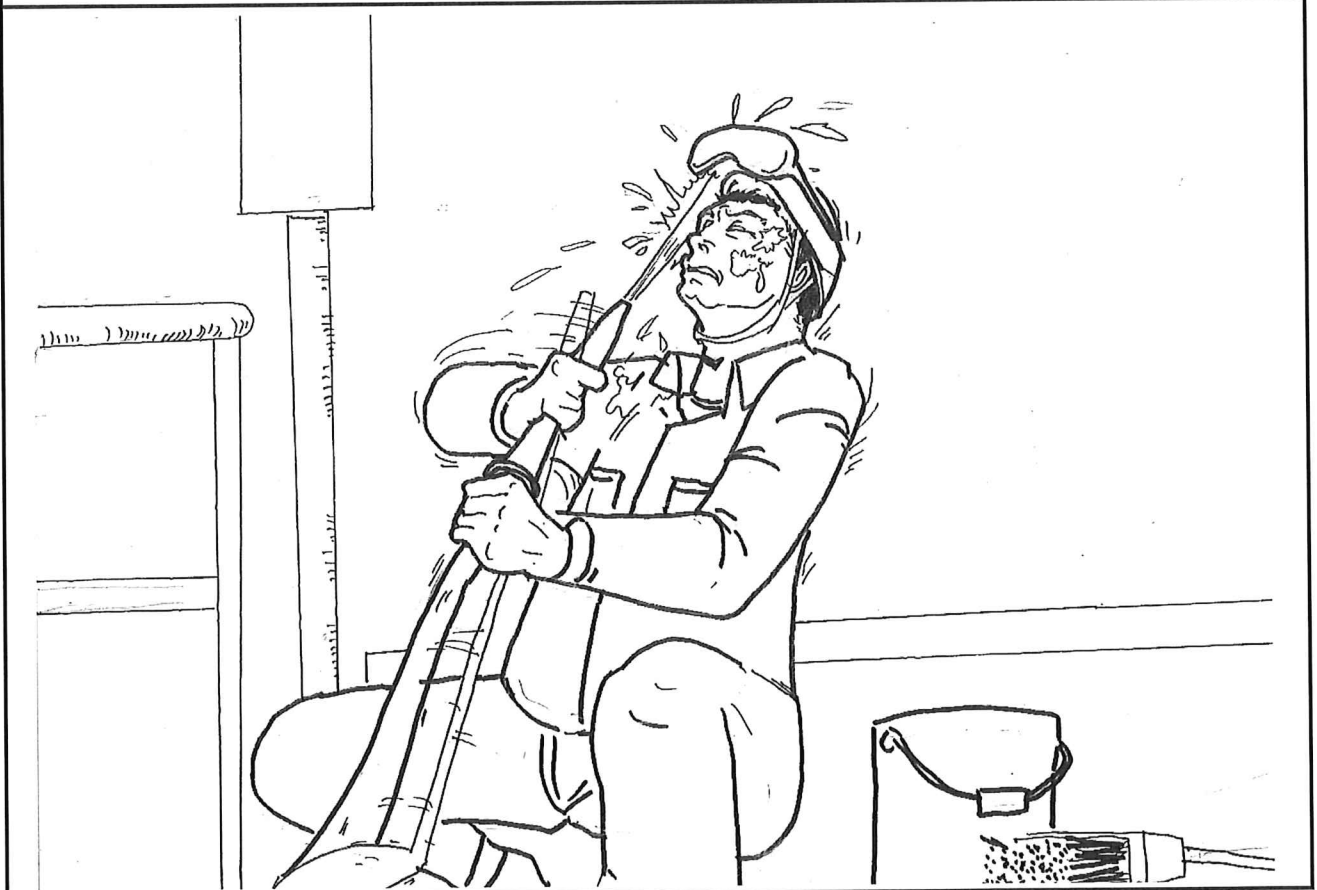
災害事例 (休業7)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年7月11日(木) 8時50分		棧橋
職種:年齢:経験	作業員		67才:1年3ヵ月
発災時の作業内容	海上出荷の棧橋において、荷役開始後に事務所へ戻るために自転車で移動していた際、ローディングアームのカウンターウエイトに頭部(ヘルメット着用)をぶつけて転倒した。		
傷病名:部位:程度	脊髄損傷		頸椎:休業22日
事故の型:起因物	激突		ローディングアーム
原因	不安全な状態	・動線上にローディングアームのカウンターウエイトが張り出していた。	
	不安全な行動	・棧橋上を自転車で移動していた。	
	安全管理上の欠陥	・カウンターウエイトが張り出しているエリアを自転車通路として黙認していた。	
再発防止対策	・棧橋への自転車の乗り入れを禁止する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (休業8)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年9月18日(水) 17時20分		構内
職種:年齢:経験	研究員 : 31才		1年
発災時の作業内容	通勤バスに乗り遅れないよう小走りで横断歩道を通過中、足がもつれて転倒した。		
傷病名:部位:程度	捻挫 : 右足首		休業17日
事故の型:起因物	転倒		起因物なし
原因	不安全な状態		
	不安全な行動	・構内ルールを守らず小走りで移動した。	
	安全管理上の欠陥	・構内ルールの周知徹底ができていなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕を持って行動することを周知する。 ・構内ルール「緊急時以外、走らない」を再教育し、現地で確認する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (休業9)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年9月29日(日)	9時	構内
職種:年齢:経験	作業員	31才	2年5ヵ月
発災時の作業内容	消火栓の点検終了後にパトロール車へ戻ろうとしたところ側溝に設置してある溝ふた(鉄板)を踏み抜いた。		
傷病名:部位:程度	裂傷(14針縫合)	右脛	休業2日
事故の型:起因物	踏み抜き		溝ふた
原因	不安全な状態	・溝ふたが腐食していた。	
	不安全な行動	・腐食している溝ふたに乗った。	
	安全管理上の欠陥	・溝ふたの定期点検を実施していなかった。	
再発防止対策	・溝ふたの定期点検を実施し不具合箇所を補修する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り



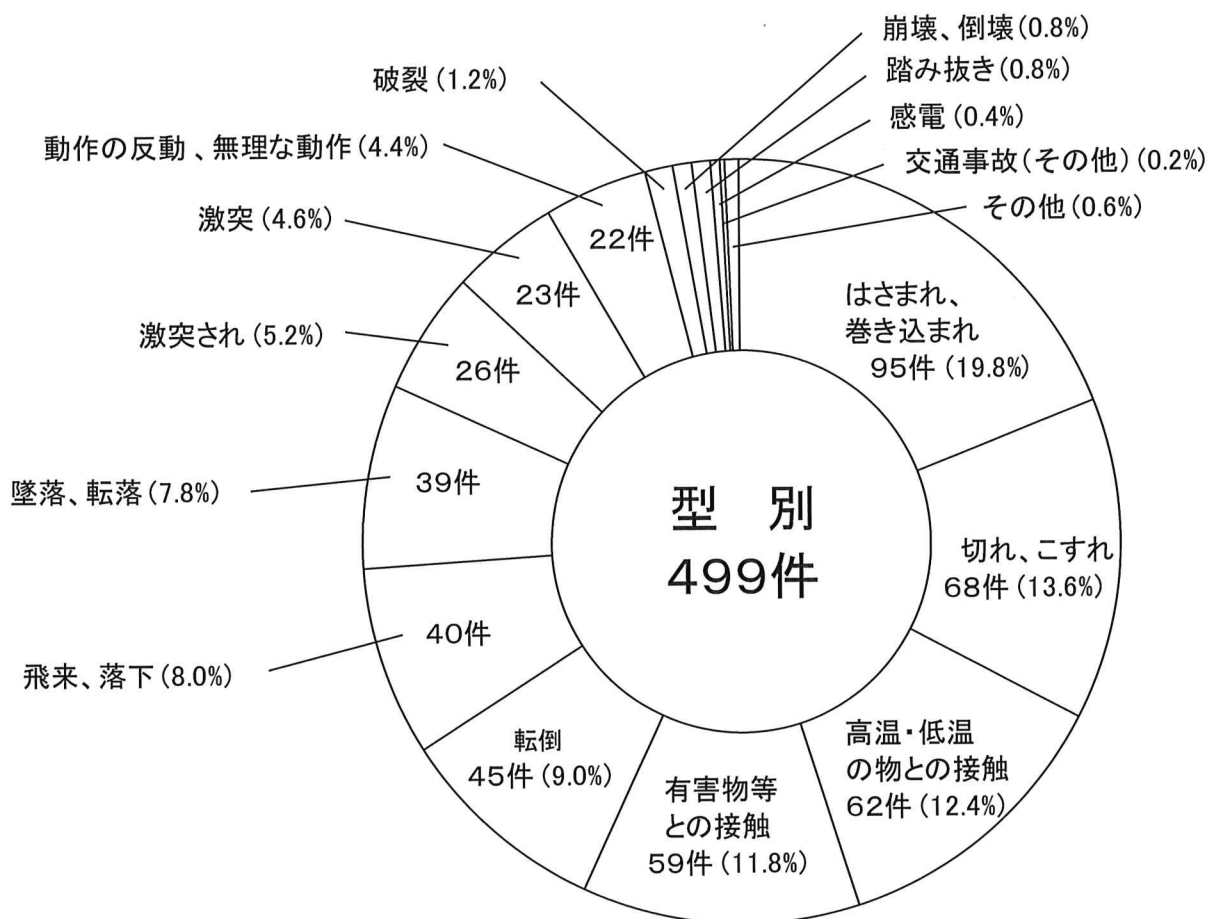
災害事例 (休業10)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年11月14日(木) 9時30分		プラント内
職種: 年齢: 経験	作業員 : 41才		12年
発災時の作業内容	消火栓を使用して終末ピットの洗浄作業を行っていた。消火栓をゆっくり開けたところ、消火ホースの折れ曲がり部が急速に解消され、一気に水圧がかかった反動で消火水ノズルが目元に向き放水が目を直撃した。(保護眼鏡着用)		
傷病名: 部位: 程度	打撲 : 目		休業8日
事故の型: 起因物	飛来、落下		ホース
原因	不安全な状態	・ホースが折れ曲がっていた。	
	不安全な行動	・ホースが折れ曲がった状態でバルブを開けた。	
	安全管理上の欠陥	・洗浄作業に消火栓(高水圧)を使用させた。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄作業では、消火栓を使用しない。 ・ホースの折れ曲がり等がないことを確認してバルブを開ける。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	

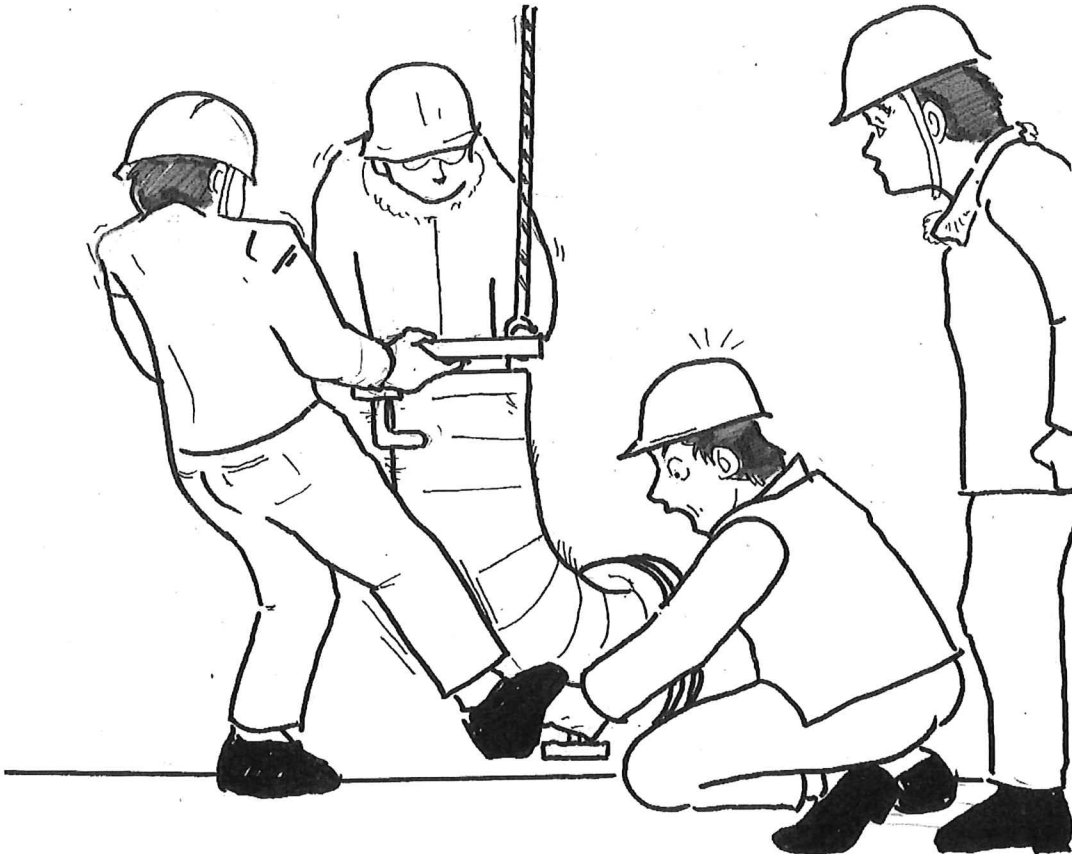


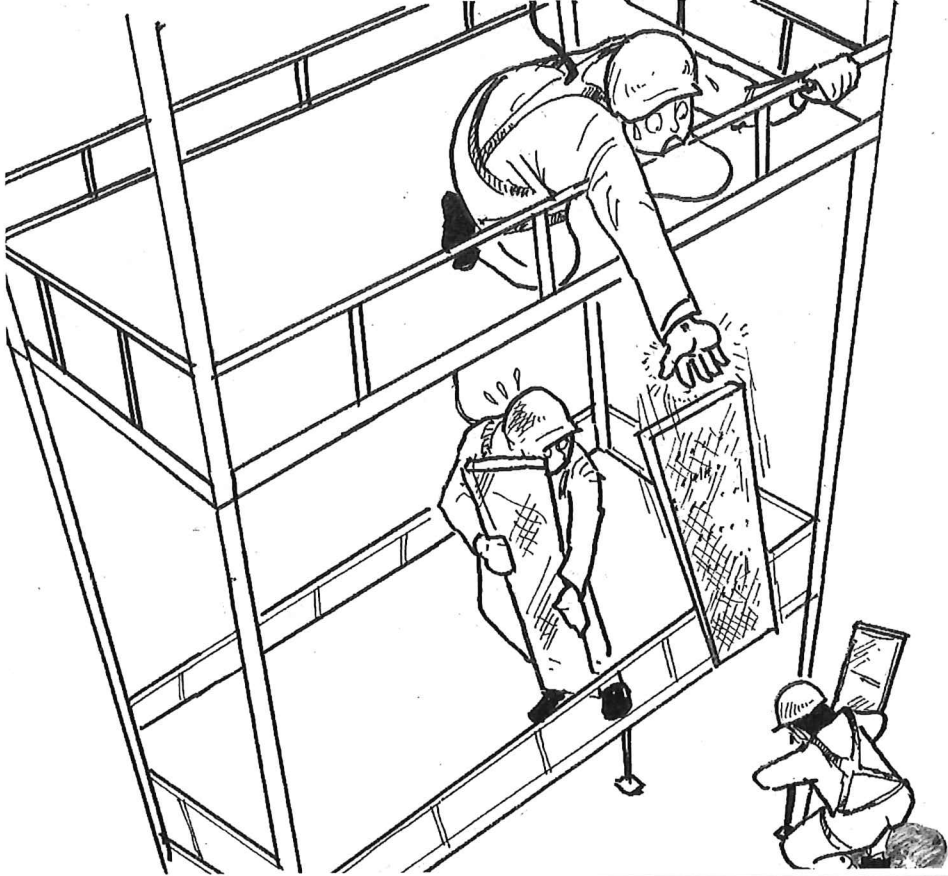
1984～2024年不休業災害499件の分類

〔型別〕

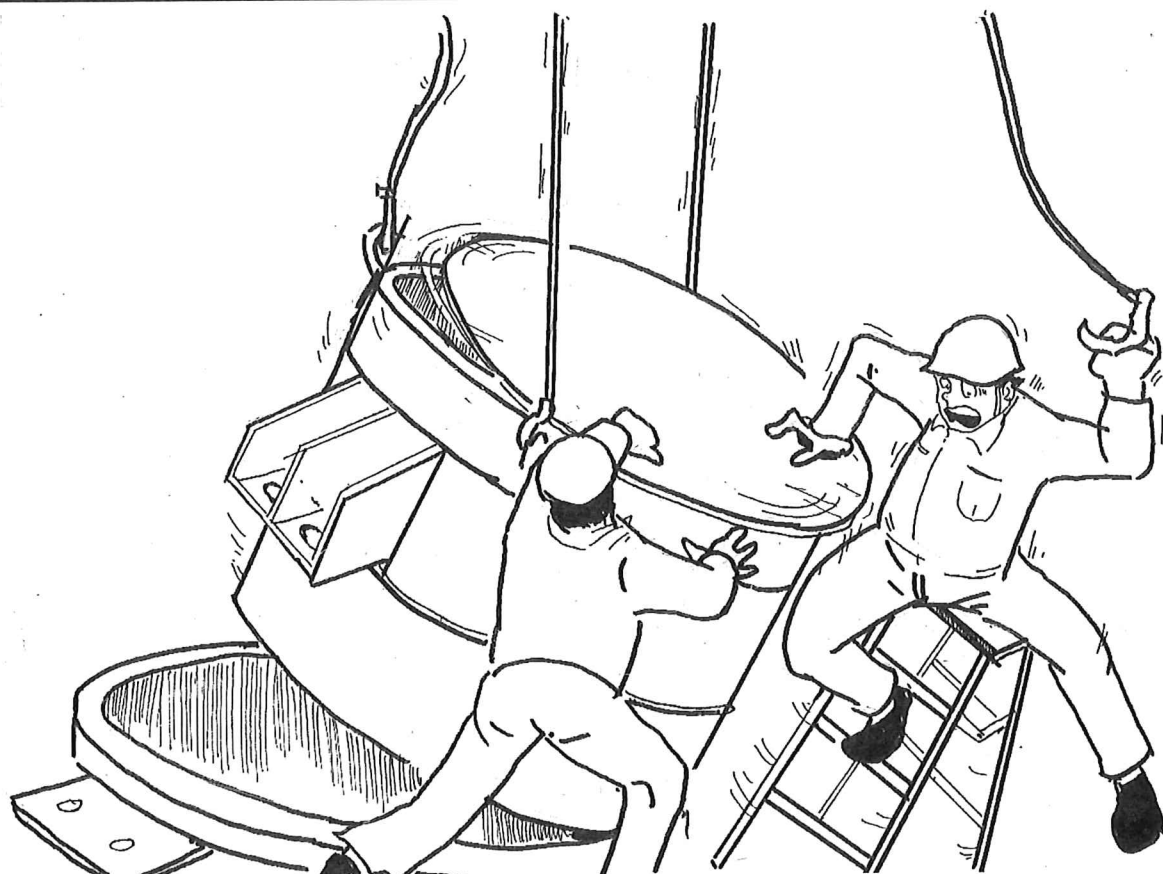
	'84～'14	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	合計
はさまれ、巻き込まれ	62		2	5	4	6	3	5	3	3	2	95
切れ、こすれ	41	1	5	1	1	3	3	4	4	2	3	68
高温・低温の物との接触	26	2	2	3	8	5	1	3	7	2	3	62
有害物等との接触	26	2	4	4	2	5	1	6	5	2	2	59
転倒	23		5	4	3	1			2	4	3	45
飛来、落下	25		2	1			3	4	1	2	2	40
墜落、転落	26	2	1	1	1	1			3		4	39
激突され	11	1		1	2		2	2		3	4	26
激突	13	1	2		1				3	1	2	23
動作の反動、無理な動作	15			2			2	1	1	1		22
破裂	6											6
崩壊、倒壊	3				1							4
踏み抜き	3					1						4
感電	1						1					2
交通事故(その他)	1											1
交通事故(道路)												0
おぼれ												0
爆発												0
火災												0
その他				2				1				3
分類不能												0
合計	282	9	23	24	23	22	16	26	29	20	25	499



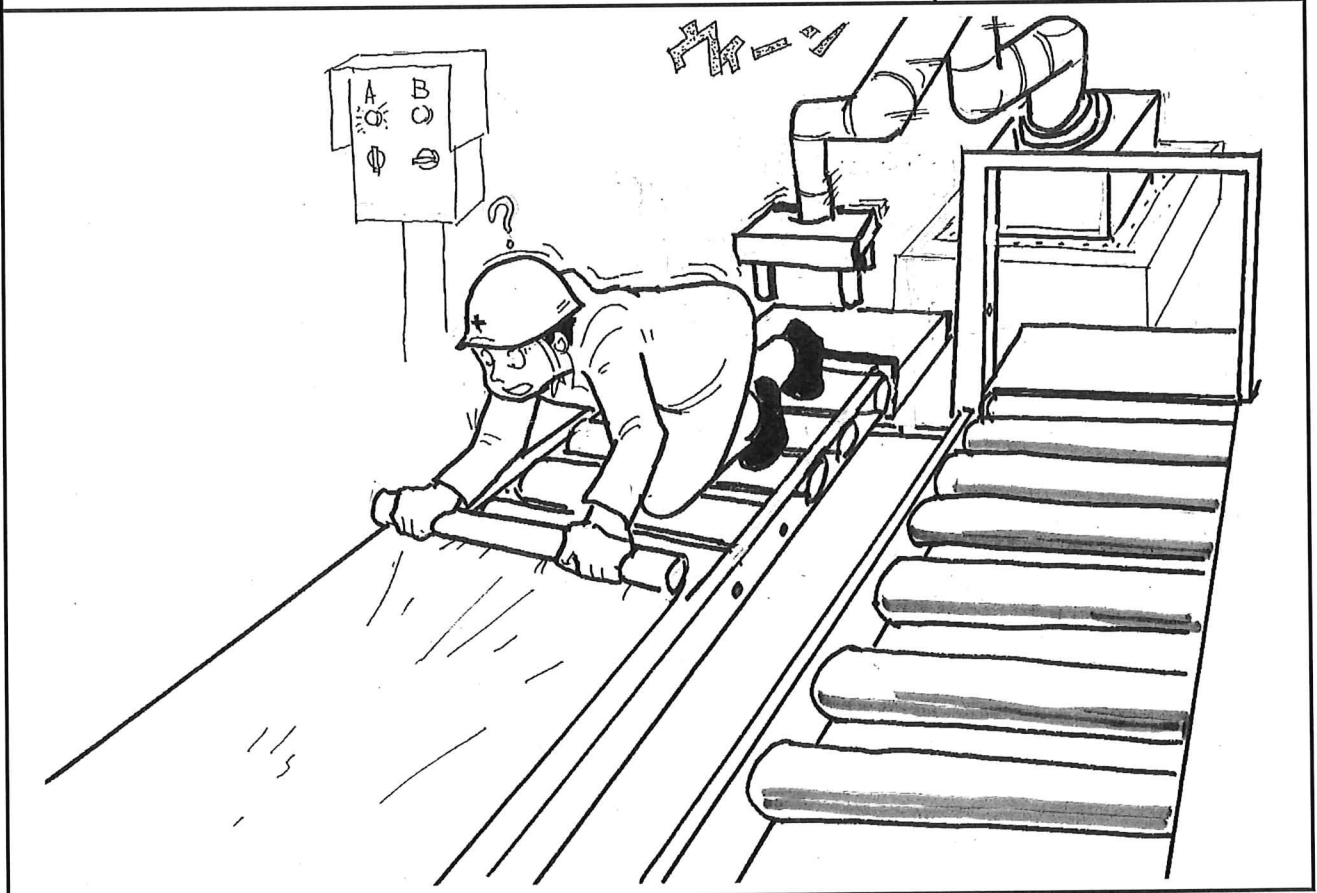
災害事例 (不休業1)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年1月5日(金)	10時30分	プラント内
職種:年齢:経験	鉄工	65才	21年
発災時の作業内容	エルボ配管(250A、約80kg)の取り付け時、フォークリフトを使用して上部フランジ部を吊ったところ水平にならなかった。そのため共同作業者がエルボ配管のドレン弁に足を掛けて接続フランジ側に押し込んだ。その際、被災者はドレン弁に左手を添えていたため足で踏まれた。		
傷病名:部位:程度	骨折	左手甲	不休業
事故の型:起因物	激突され		フォークリフト
原因	不安全な状態	・吊り荷が不安定だった。(1点吊り)	
	不安全な行動	・曖昧な声掛けでドレン弁を足で押し込んだ。	
	安全管理上の欠陥	・不完全な作業手順書で作業を行わせた。 (フォークリフト爪の用途外使用と玉掛作業での省略行動)	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な吊り上げ設備(仮設やぐら、ユニック等)を使用する。 ・チェンブロックを使用し、2点吊り等で重心が取れた状態で作業する。 ・直接手で触らずに、レバーブロック等を使用する。 ・作業者全員に作業方法を周知し声掛けによる安全確認を行う。 ・機器、資機材等の適正使用の再教育を行う。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

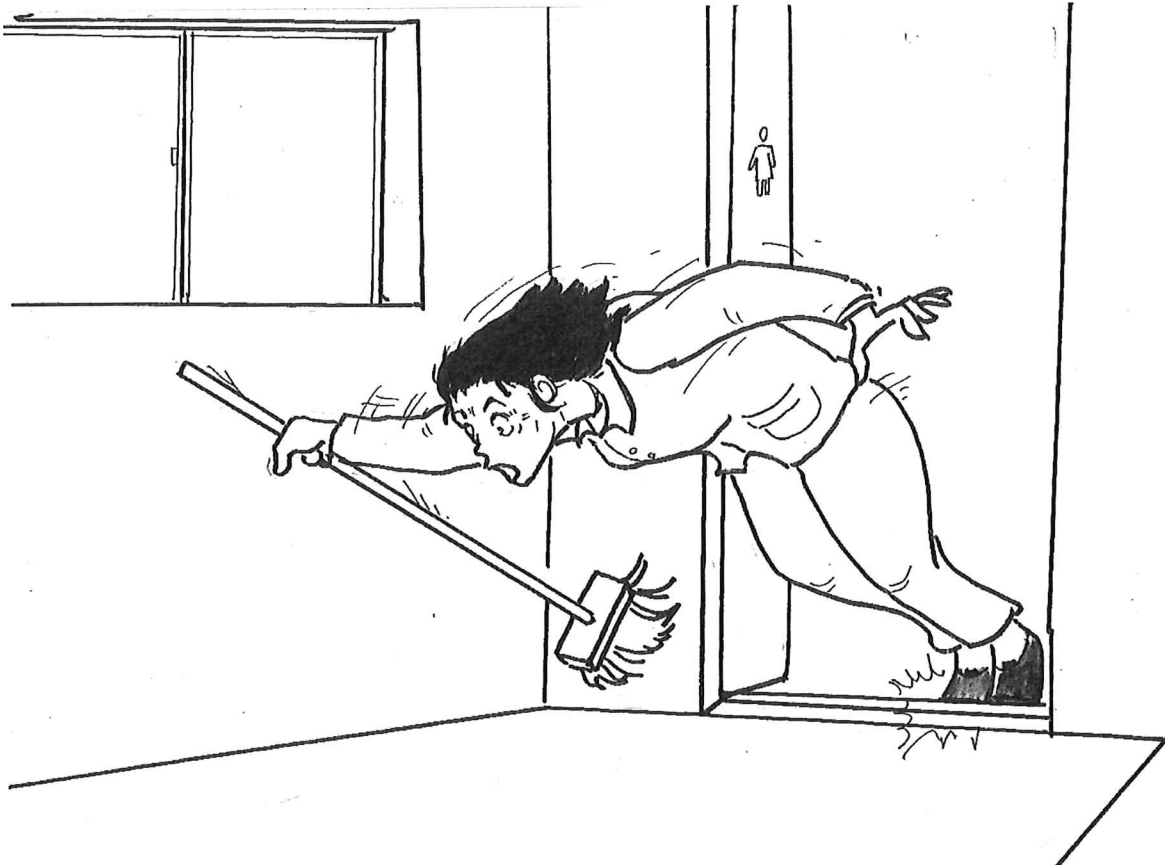
災害事例 (不休業2)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年2月8日(木) 9時40分		プラント内
職種:年齢:経験	鳶職		28才:1年
発災時の作業内容	3段足場の3段目を架設中に、地上作業員、2段目作業員、3段目作業員の順に足場板を手渡していた。3段目作業員が足場板踏面を上側の状態で引き上げた際、設置済の足場板金具に接触した衝撃で、手が滑り足場板が落下し、地上作業員に衝突した。		
傷病名:部位:程度	裂傷		口内:不休業
事故の型:起因物	飛来、落下		足場板
原因	不安全な状態		
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> ・足場板が落下しても当たらない場所に移動しなかった。 ・足場板踏面を上側にした状態で引き上げた。 	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> ・足場板手渡し方法の指導が出来ていなかった。 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・足場板の手渡し方法を教育し、現場で確認する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (不休業3)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年2月26日(月) 17時30分		プラント内
職種:年齢:経験	鷹職 : (A)46才、(B)24才 : (A)22年、(B)7ヶ月		
発災時の作業内容	作業員2名で円筒型機器の撤去作業を行っていた。機器をチェーンブロックで4点吊りしたところ、吊り代が不足していたことがわかり、被災者Aがチェーンブロックを外し3点支持の状態に吊り代不足のチェーンブロックを交換しようとした。その際、被災者Aが天板に手をかけてしまったため、胴体部に固定されていなかった天板が滑り落ち、そのはずみで脚立から転落した。被災者Bは地面に落下した天板が足に当たり負傷した。		
傷病名:部位:程度	(A)打撲 : (A)左膝 : (A)不休業 (B)打撲 : (B)左足中指 : (B)不休業		
事故の型:起因物	(A)墜落、転落 : (A)脚立 (B)激突され : (B)天板		
原因	不安全な状態	<ul style="list-style-type: none"> 天板が胴体と固定されていなかった。 チェーンブロックの吊り代が不足していた。 	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> 機器を吊ったままの状態にチェーンブロックを交換しようとした。 	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> 重量物吊り荷作業の基本事項を徹底していなかった。 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 重量物吊り荷作業の基本事項を徹底して作業手順を周知する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	



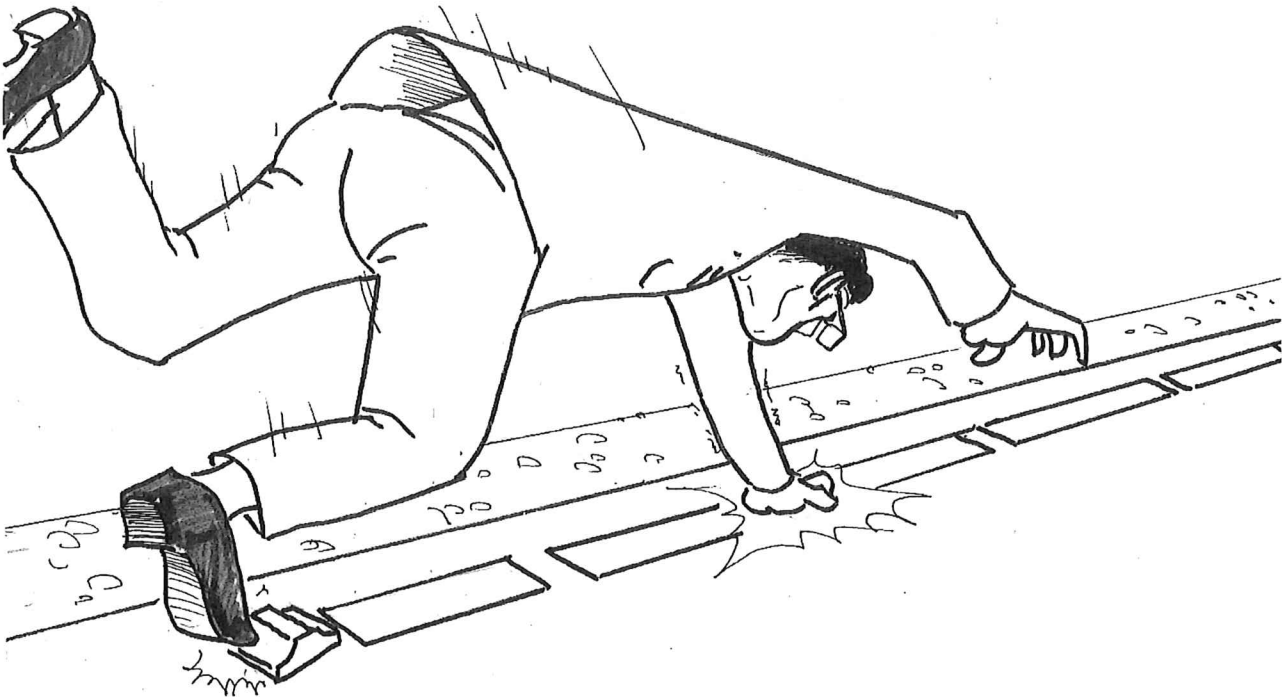
災害事例 (不休業4)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年2月29日(木)	8時5分	工場内
職種:年齢:経験	作業員	53才	1年
発災時の作業内容	包装機のトラブルにより設備を停止させたが、ロボットアームの電源は入ったままだった。被災者は包装作業が終了したと勘違いし、コンベアの清掃のために養生を開始した。その際、ロボットアームが作動して爪部分が足に接触した。		
傷病名:部位:程度	擦り傷	ふくらはぎ	不休業
事故の型:起因物	激突され		ロボットアーム
原因	不安全な状態	・包装機は停止していたが、ロボットアームの電源は入ったままだった。	
	不安全な行動	・作業着工の確認をせず、コンベアの養生を開始した。	
	安全管理上の欠陥	・トラブル発生時の作業指示が出来ていなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブル発生時は全ての電源を切る。 ・作業者は全ての電源が切れていることを確認後、作業を着工する。 ・トラブル発生の際は作業内容を再度指示する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り



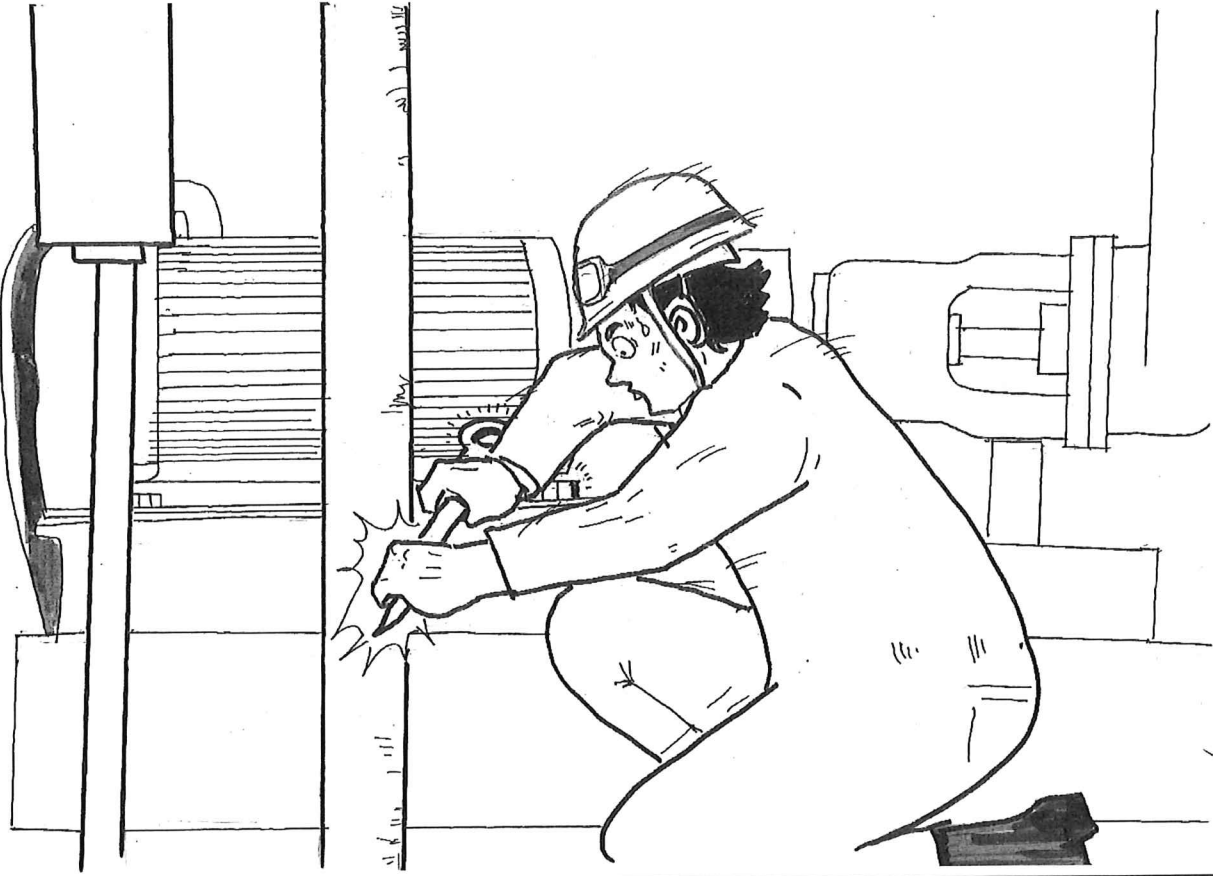
災害事例 (不休業5)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年3月4日(月)	9時50分	事務所
職種:年齢:経験	作業員	65才	1年2ヵ月
発災時の作業内容	トイレ清掃後、モップを洗いに行こうとトイレから廊下に出るところで扉枠の段差(約2cm)につまずき転倒した。		
傷病名:部位:程度	切創	額	不休業
事故の型:起因物	転倒		扉枠
原因	不安全な状態	・扉枠が床面に対して約2cmの段差があった。	
	不安全な行動	・足元を確認せずに扉を通行した。	
	安全管理上の欠陥	・作業員に対して基本行動の教育が不十分だった。	
再発防止対策	・作業員に対して基本行動(移動時には足元・周囲の確認)の教育を行い、現地で確認する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			


災害事例 (不休業6)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年3月6日(水)	11時	: プラント内
職種:年齢:経験	作業員	: 29才	: 8年
発災時の作業内容	扉回り補修のため、手で板金カバー(厚さ0.5mm)を取り外す作業をしていた際、持ち手が滑り板金の端部により手を負傷した。 ※ゴム手袋、薄手ニトリル手袋の2枚重ね着用		
傷病名:部位:程度	切創(6針縫合)	: 右手	: 不休業
事故の型:起因物	切れ、こすれ	:	板金カバー
原因	不安全な状態	・板金カバーが鋭利で滑りやすかった。	
	不安全な行動	・板金カバーを手で引っ張った。	
	安全管理上の欠陥	・板金取り扱いの危険性について安全指示が不足していた。 ・適切な工具および保護手袋使用を指示しなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 作業方法(板金カバー取り外しは工具を使う)を教育する。 適切な工具および保護具使用を徹底する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し



災害事例 (不休業7)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年3月12日(火)	6時20分	構内道路
職種:年齢:経験	警備員	70才	3年1ヵ月
発災時の作業内容	構内道路を歩行中、路面(白線)上の道路鋸(突起物)につまずき転倒した。		
傷病名:部位:程度	打撲	両膝	不休業
事故の型:起因物	転倒		道路鋸
原因	不安全な状態	・歩車道共通道路の白線上に道路鋸があった。	
	不安全な行動	・よそ見をしながら歩行していた。	
	安全管理上の欠陥	・歩車道共通道路上にある見えにくい道路鋸を放置していた。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・道路鋸を埋め込み式に変更する。 ・作業員に対して転倒防止の注意喚起をする。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

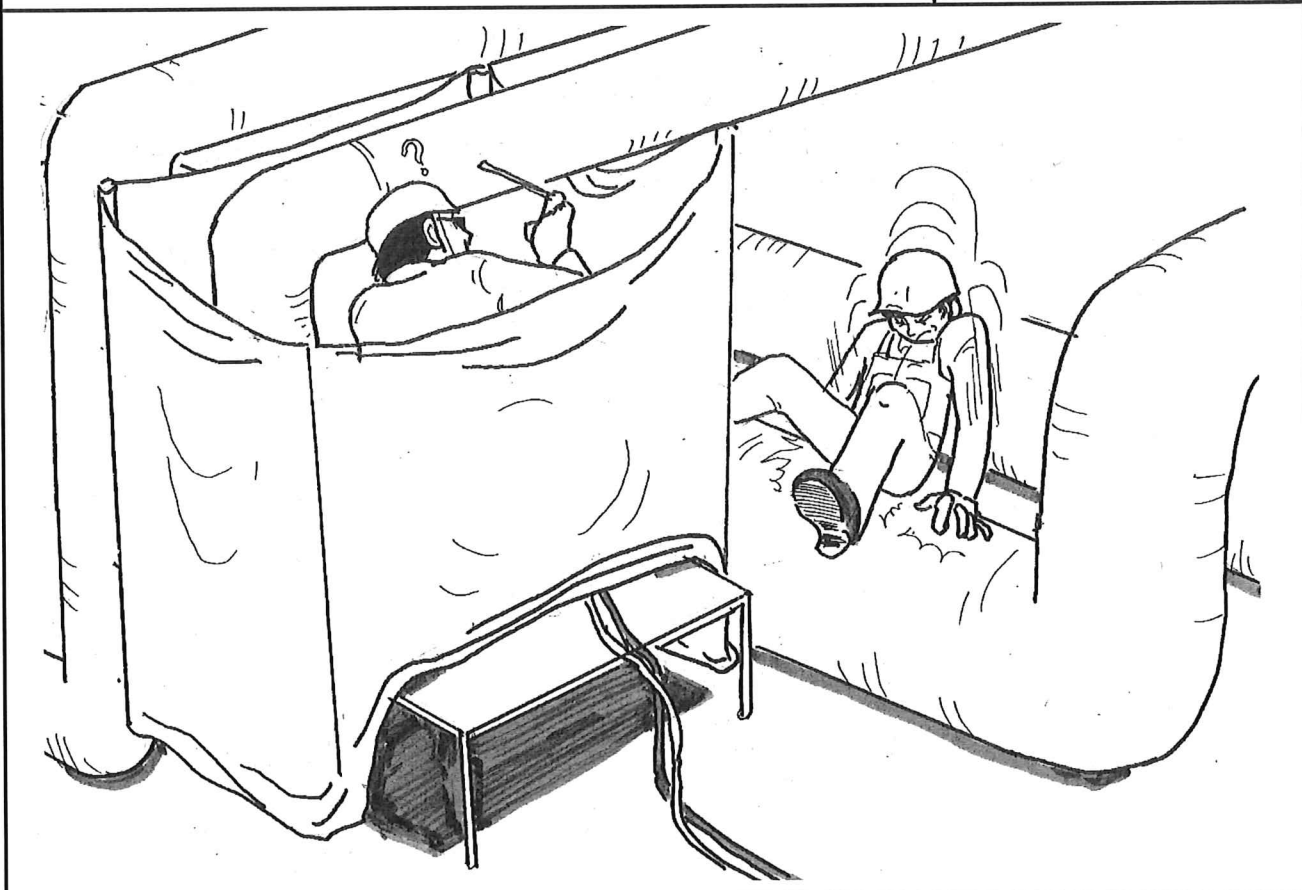
災害事例 (不休業8)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年4月3日(水) 13時20分		倉庫
職種:年齢:経験	作業員		36才 : 4年4カ月
発災時の作業内容	倉庫内の状況を確認するため、扉のレバーを持って開けようとした際、レバーとストッパーの間で右手を負傷した。		
傷病名:部位:程度	骨折		: 右手親指 : 不休業
事故の型:起因物	激突		: 扉レバー
原因	不安全な状態		
	不安全な行動	・グリップ部を持たず、滑りやすい金属部を持った。	
	安全管理上の欠陥		
再発防止対策	・グリップを持つように注意喚起をする。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	

災害事例 (不休業9)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年4月19日(金) 17時		プラント内
職種:年齢:経験	作業員:19才		1年
発災時の作業内容	ポンプのモーターベース締付ボルト(M24)の増し締め中に工具(レンチ)がボルトより外れ、配管サポートと工具の間で左手を挟んだ。		
傷病名:部位:程度	骨折:左手薬指		不休業
事故の型:起因物	激突		レンチ
原因	不安全な状態	・レンチの掛かりが浅かった。	
	不安全な行動	・レンチを押し方向で使用した。	
	安全管理上の欠陥	・レンチの正しい使用方法を教育していなかった。	
再発防止対策	・レンチの正しい使用方法を教育し、現地で確認指導する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			


災害事例 (不休業 10)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年5月23日(木)	9時20分	: 屋外
職種:年齢:経験	運転士	: 49才	: 28年
発災時の作業内容	トラック荷台に6段積みされた空パレットとその横に6段積みされたパレットの上に空フレコンが載っていた。この空フレコンを荷台から下ろそうとしたが、手が届かなかったため空パレットの上に乗って、空フレコンを下ろしていた。その際、バランスを崩して飛び降りる形で地面へ転落した。(高さ約2.1m)		
傷病名:部位:程度	打撲	: 左胸	: 不休業
事故の型:起因物	墜落、転落	:	フレコン
原因	不安全な状態	・空フレコンに手が届かなかった。	
	不安全な行動	・パレットに上り作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	・安全に行う作業方法を指示していなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・手すり付き架台を製作しラック横に設置して転落を防止する。 ・安全基本行動を教育する。(例. 資材や不安定な足場には乗らない) 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (不休業 11)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年6月22日(土) 14時50分		プラント内
職種:年齢:経験	高職		29才:3年
発災時の作業内容	<p>遠心式集塵機(サイクロン、内径約1m、高さ11m)内部足場組立作業のため足場組立用単管パイプ(全長600mm)を吊り下ろす作業を行っていた。</p> <p>単管パイプ端部にクランプ1個を取付けてフック付ロープで吊って下ろしていたが、昇降用の縄梯子に接触したため単管パイプが上下に回転し、クランプ側が下になり、単管パイプがフックからすり抜けて落下し、約3m下にいた被災者の顔に当たった。</p>		
傷病名:部位:程度	骨折		右鼻骨:不休業
事故の型:起因物	飛来、落下		足場
原因	不安全な状態	・作業場所が狭く、単管パイプと縄梯子が接触しやすかった。	
	不安全な行動	・単管パイプの片側のみクランプを取付け、フックを掛けて下ろした。	
	安全管理上の欠陥	・現地での作業方法を確認していなかった。	
再発防止対策	<p>・正しい作業手順を再教育し、現地で確認する。 (単管パイプ両端にクランプを取付け、その間にフックを掛け、抜け落ちないようにして1本ずつ吊り下ろす)</p>		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	

災害事例 (不休業12)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年7月15日(月)	15時	構外ヤード
職種: 年齢: 経験	監督	72才	38年
発災時の作業内容	配管更新の溶接作業で4面火気養生を設け、養生内で突き合わせ溶接作業を行っていた。監督が養生内部の状況確認を行うため隣接する12B配管(GL+500mm)に乗った際、足を滑らせて転落した。		
傷病名: 部位: 程度	骨折	胸椎	不休業
事故の型: 起因物	墜落、転落		配管
原因	不安全な状態	・雨天で配管が濡れていた。	
	不安全な行動	・配管の上に乗った。	
	安全管理上の欠陥	・配管に乗ってはいけないことを周知していなかった。	
再発防止対策	・配管に乗らないことを周知し、現地で確認する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

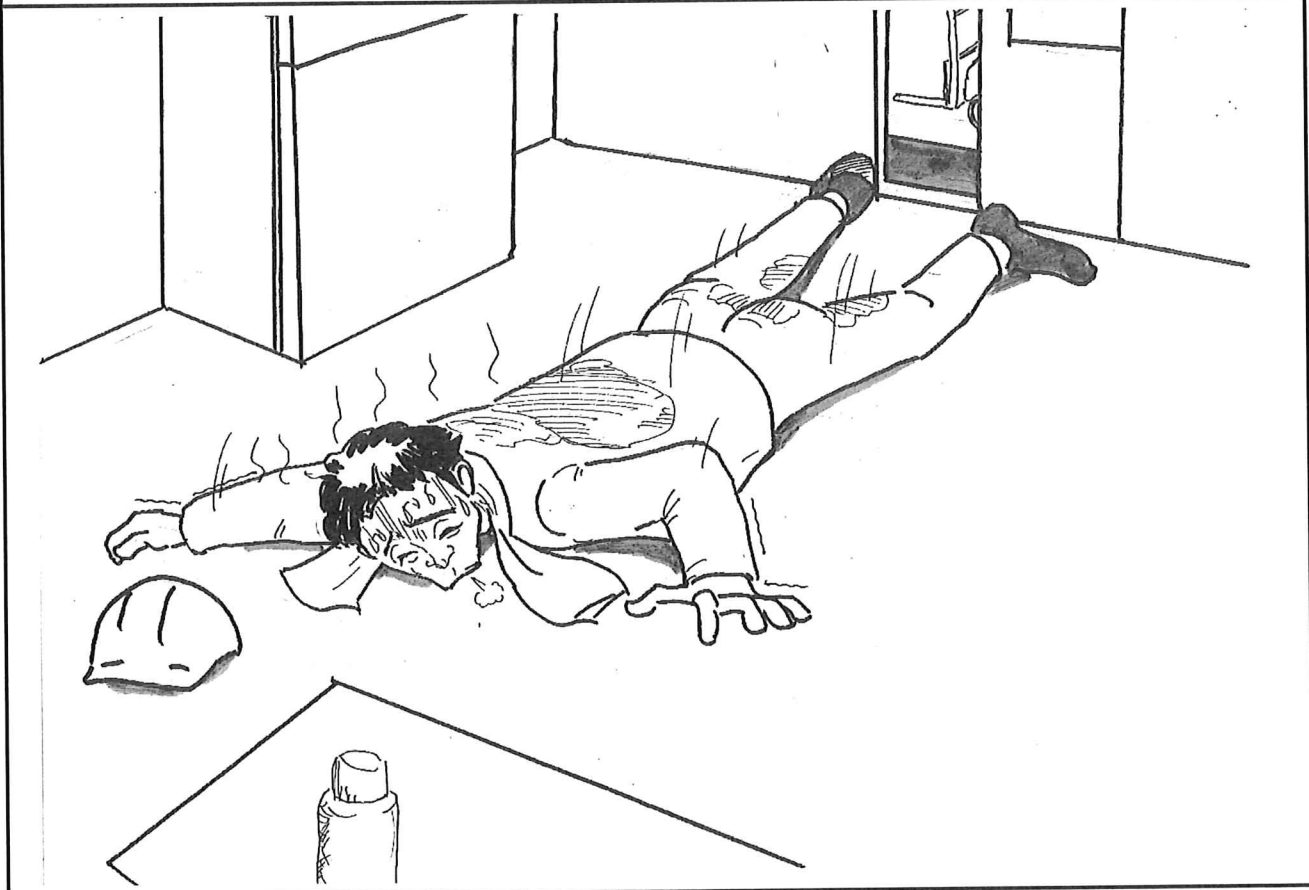


災害事例 (不休業 13)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年7月24日(水)	16時02分	: プラント内
職種: 年齢: 経験	作業員	: 26才	: 8年4ヵ月
発災時の作業内容	塩酸系ガスと鉱石の分級設備修理中、圧抜きを開始したところ、塩酸系ガスと鉱石(粉体)が飛散し、第三者に接触した。		
傷病名: 部位: 程度	薬傷	: うなじ	: 不休業
事故の型: 起因物	有害物等との接触	:	分級設備
原因	不安全な状態	・圧抜きをすると塩酸系ガスと鉱石(粉体)が飛散する状態であった。	
	不安全な行動	・塩酸系ガスと鉱石(粉体)が飛散する状態で圧抜きをした。	
	安全管理上の欠陥	・圧抜き時に塩酸系ガスと鉱石(粉体)が飛散する設備を放置していた。(客先)	
再発防止対策	・圧抜きをしても塩酸系ガスと鉱石(粉体)が飛散しないよう設備を改造する。(客先)		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し

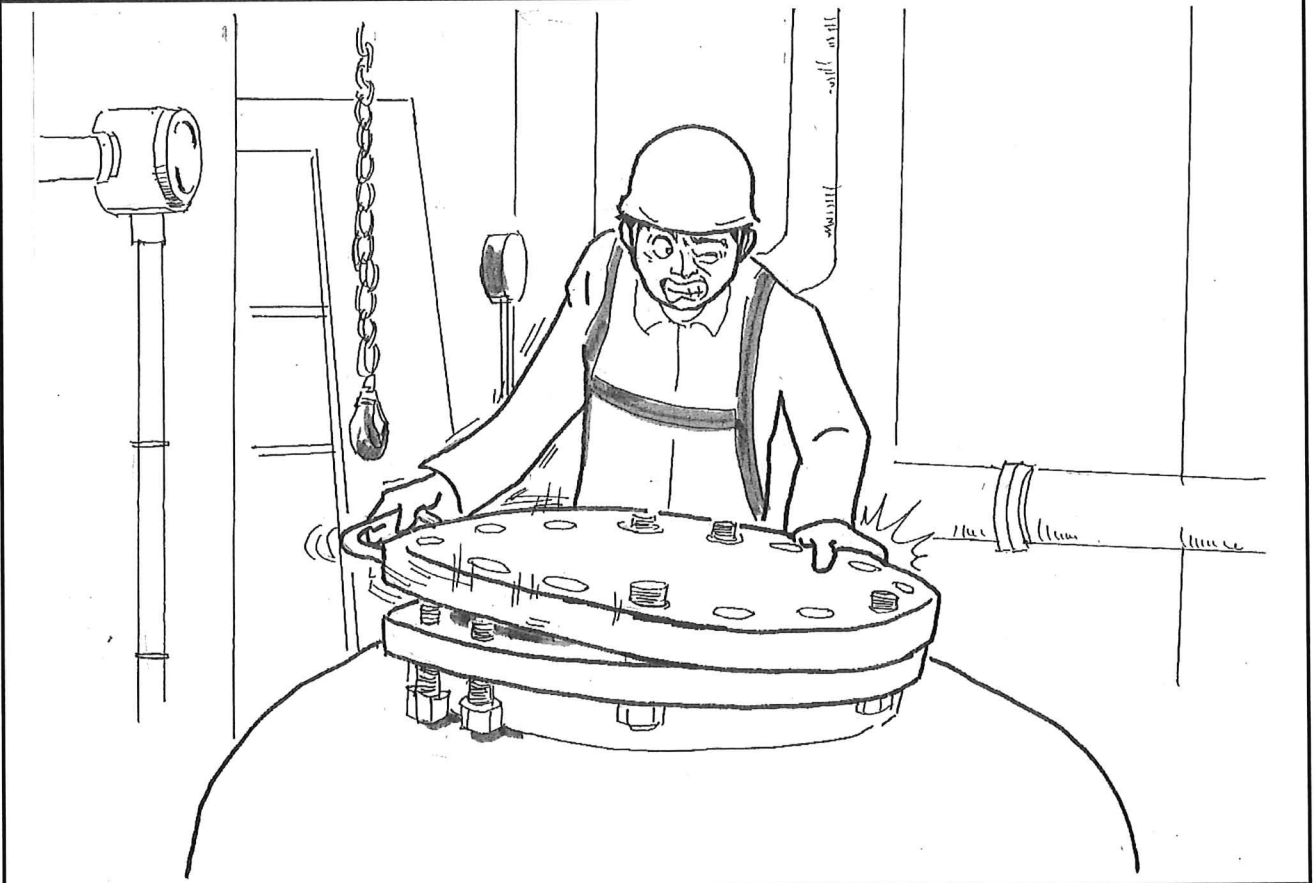
災害事例 (不休業 14)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年8月5日(月)	11時15分	: プラント内
職種:年齢:経験	作業員	: 37才	: 19年
発災時の作業内容	熱交換器の足場解体作業中、上部から資材を降ろすため中間地点で足場材を受け渡ししていた際、熱交ウェザーシール開口部(幅40cm、高さ25cm)に右肘が入り、本体高温部フランジに触れた。		
傷病名:部位:程度	火傷(Ⅱ度)	: 右腕	: 不休業
事故の型:起因物	高温・低温の物との接触	:	熱交換器
原因	不安全な状態	・作業エリアに開口部があった。	
	不安全な行動		
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> ・作業前に高温機器による火傷のリスクが抽出できていなかった。 ・高温機器の開口部に対する安全養生が取られていなかった。 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・作業エリア内に高温箇所が無いか表面温度を測定して確認し、高温部には体が触れないように安全養生を行う。 ・KYに高温機器による火傷リスクを明記して上記で計測した温度を追記する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (不休業 15)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年8月10日(土)	3時36分	: プラント内
職種:年齢:経験	作業員	: 46才	: 13年
発災時の作業内容	合成ゴムの脱水機からはみ出した大きなゴム塊をせき止める格子の角度調整を足で行った。その際、格子枠から足が外れ熱水に浸かった。		
傷病名:部位:程度	火傷(Ⅱ度)	: 右足	: 不休業
事故の型:起因物	高温・低温の物との接触	:	格子
原因	不安全な状態	・はみ出しゴム量が予想より多かった。	
	不安全な行動	・足で格子の角度調整を行った。	
	安全管理上の欠陥	・角度調整が出来る格子を使用させていた。	
再発防止対策	・角度調整が不要な専用格子を製作し使用する。(客先)		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

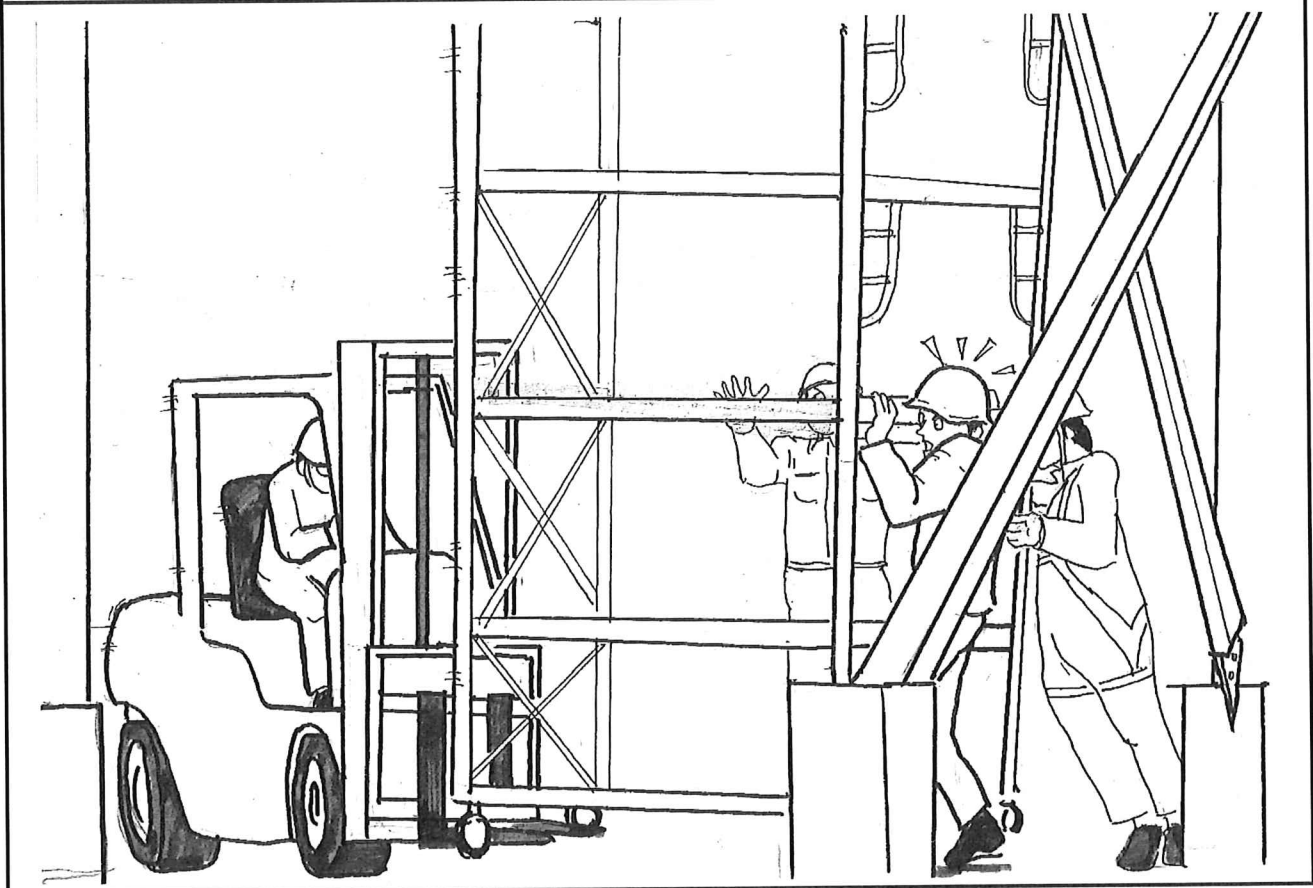
災害事例 (不休業 16)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年8月22日(木)	9時	構内
職種: 年齢: 経験	作業員	51才	14年
発災時の作業内容	屋外でフォークリフトによる運搬作業をしていた。休憩のため休憩室へ入った際にめまいを起こして転倒した。		
傷病名: 部位: 程度	熱中症	-	不休業
事故の型: 起因物	高温・低温の物との接触	:	環境等
原因	不安全な状態	・気温・湿度が高く WBGT 値が 31.7°C で危険レベルであった。 (気温: 30.3°C 湿度: 82% WBGT 値: 31.7°C)	
	不安全な行動		
	安全管理上の欠陥	・WBGT 値に基づく作業管理ができていなかった。	
再発防止対策	・暑さ指数が危険レベルの場合には、その時の対応についてあらかじめ客先と協議する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し

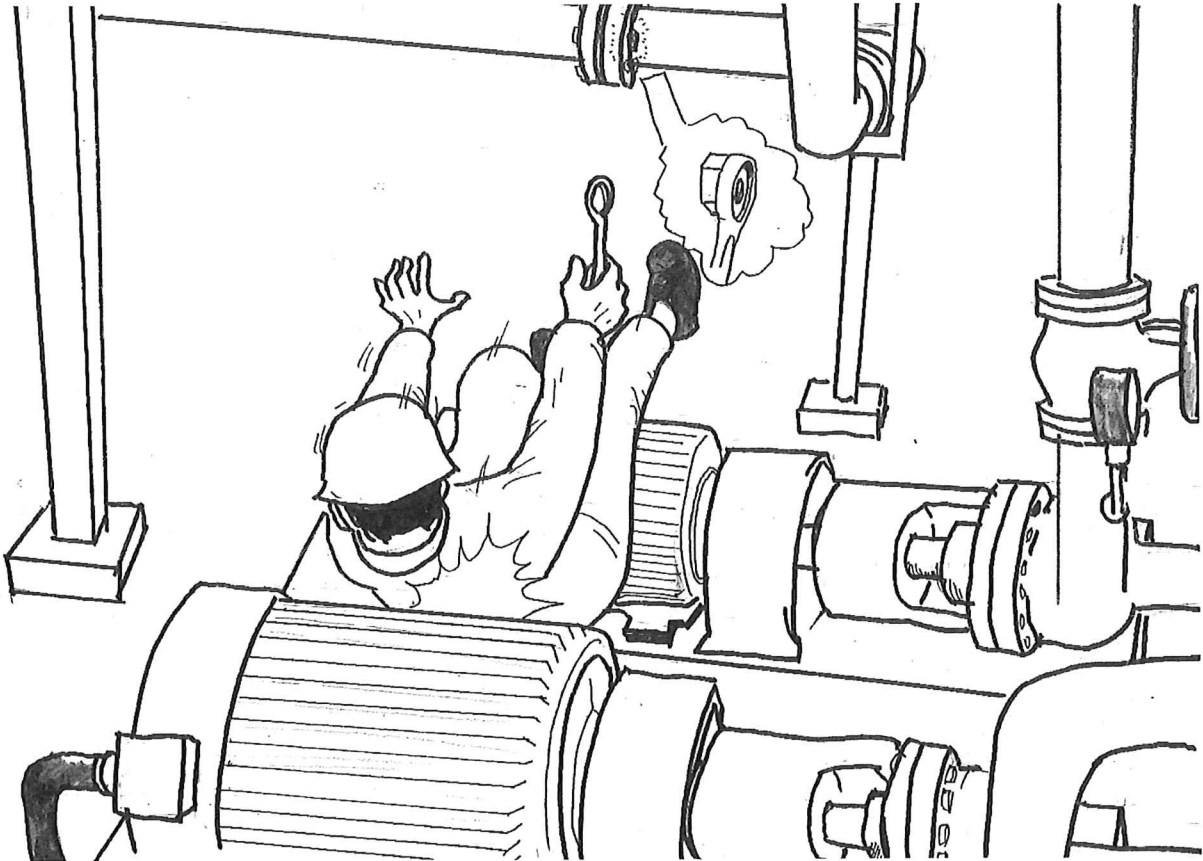


災害事例 (不休業 17)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年9月20日(金)	14時18分	: プラント内
職種: 年齢: 経験	作業員	: 24才	: 1年
発災時の作業内容	マンホールの仮締め作業を実施中、チェーンブロックで吊っていたマンホールを下げた時タンク側のボルトが当たり完全に閉まらなかったため、チェーンブロックを外して人力でゆすりマンホールが閉まった際に、添えていた左手中指を挟んだ。		
傷病名: 部位: 程度	骨折	: 左手中指	: 不休業
事故の型: 起因物	はさまれ、巻き込まれ	:	マンホール
原因	不安全な状態	・マンホールのボルトがフランジ穴からズレていた。	
	不安全な行動	・ボルト穴が合っていない状態でチェーンブロックを外した。 ・指を挟む位置に手を置いた。	
	安全管理上の欠陥	・フランジ位置合わせの作業手順書がなかった。	
再発防止対策	・作業手順書を作成し、現地で指導確認を行う。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

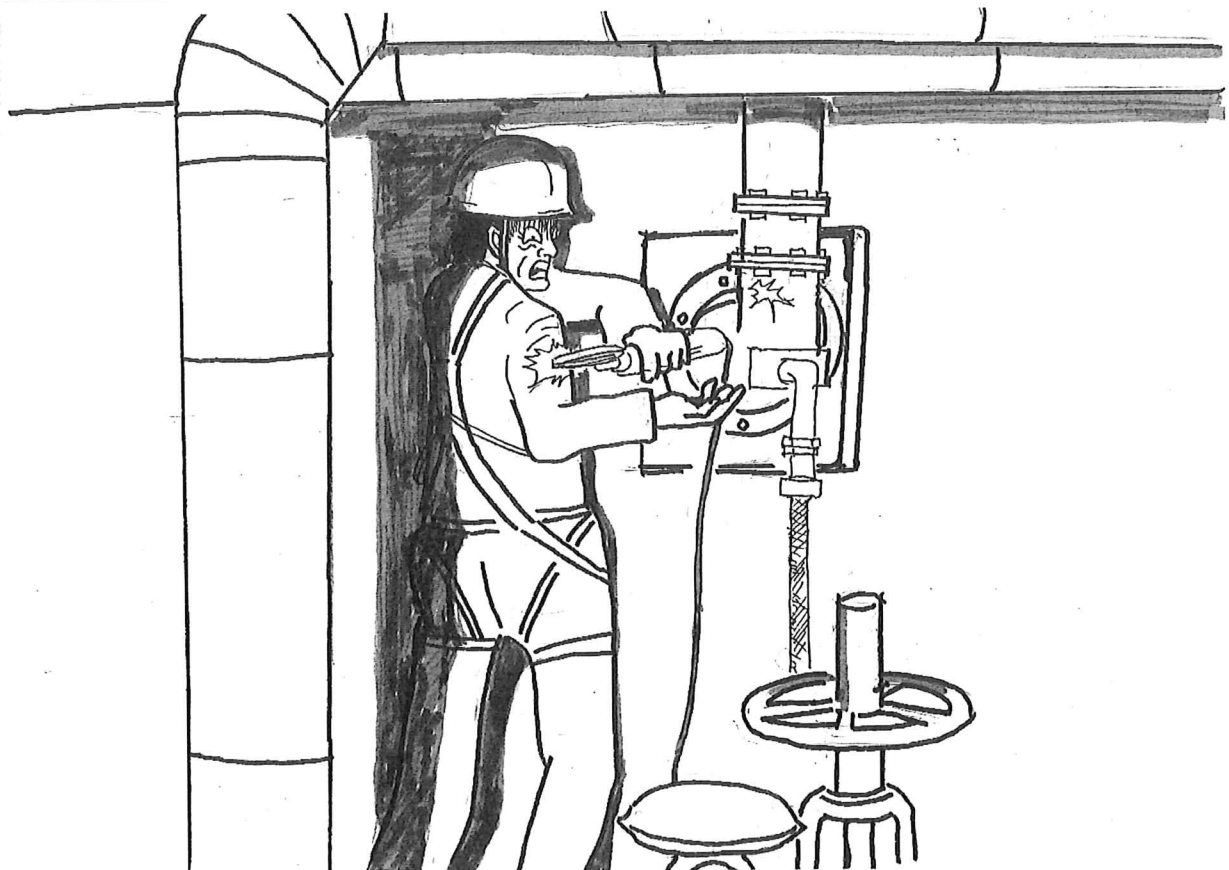


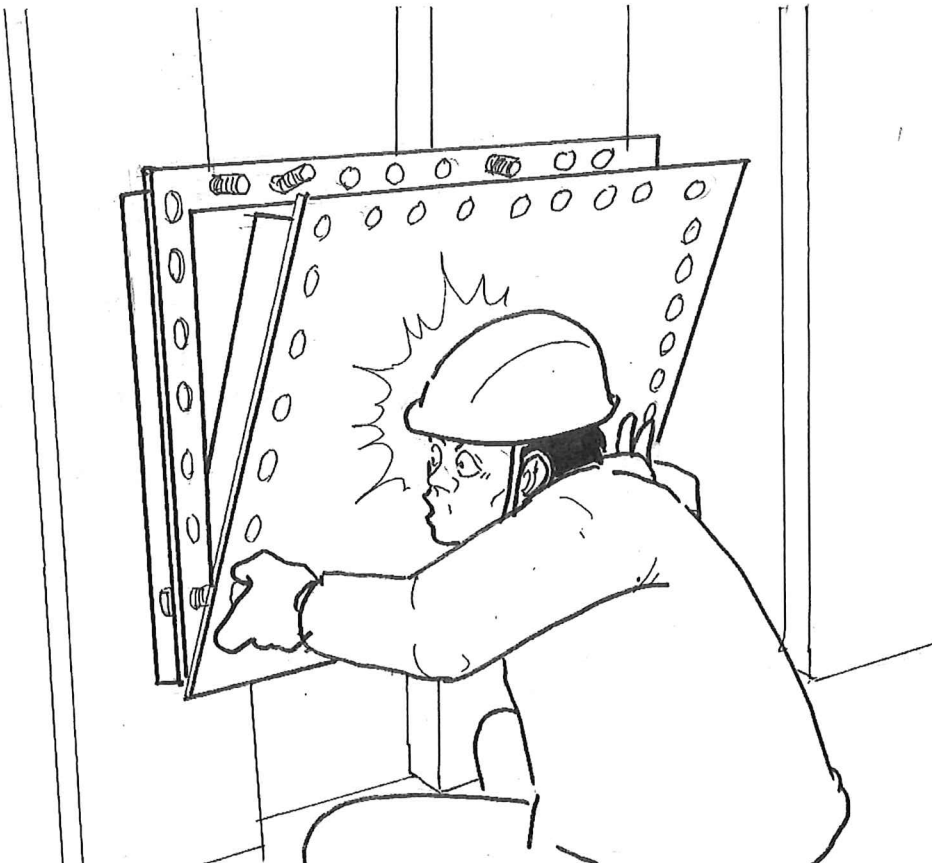
災害事例 (不休業 18)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻:場所	2024年9月25日(水)	14時26分	倉庫
職種:年齢:経験	作業員	46才	26年
発災時の作業内容	作業に障害となる移動式足場をフォークリフトで移動させた際、移動式足場の裏側にいた作業員が鉄骨ブレースと移動式足場の間に挟まれた。		
傷病名:部位:程度	打撲	胸・背中	不休業
事故の型:起因物	はさまれ、巻き込まれ		フォークリフト
原因	不安全な状態	・作業に障害となる移動式足場が置いてあった。	
	不安全な行動	・移動式足場を移動する際に、勝手な判断でフォークリフトを使用した。	
	安全管理上の欠陥	・移動式足場を移動させる際に適切な作業方法を指示していなかった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトの適正使用の再教育を行う。 ・作業場所に不要な移動式足場等の資機材を置かない。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り




災害事例 (不休業 19)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年10月4日(金) 11時20分		プラント内
職種:年齢:経験	作業員		53才:2日
発災時の作業内容	配管フランジのボルトを緩めていた時、工具(レンチ)が外れたはずみで後ろ向きに転倒した。		
傷病名:部位:程度	打撲		右肩:不休業
事故の型:起因物	転倒		:レンチ
原因	不安全な状態	・レンチの掛かりが浅かった。	
	不安全な行動	・不安定な姿勢で作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	・レンチの正しい使用方法を教育していなかった。	
再発防止対策	・レンチの正しい使用方法を教育し、現地で確認指導する。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

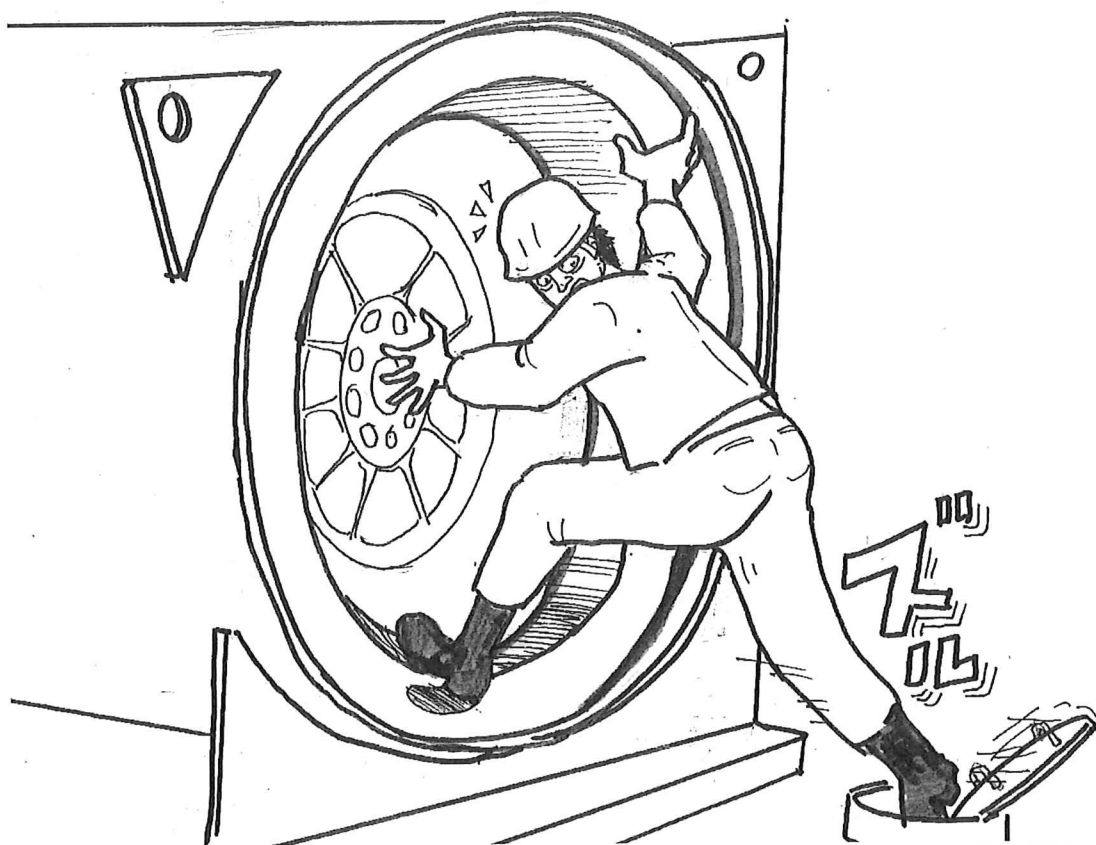
災害事例 (不休業 20)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年10月7日(月)	13時50分	: プラント内
職種: 年齢: 経験	鉄工	: 43才	: 16年
発災時の作業内容	バーナー交換作業でエアードンパーとの接続ボルト/ナットを切断しようとしていた。狭所のためグラインダーを裏返して使用した際に、グラインダーがキックバックし反進行方向へ跳ねて右腕を負傷した。		
傷病名: 部位: 程度	切創	: 右腕	: 不休業
事故の型: 起因物	切れ、こすれ	:	グラインダー
原因	不安全な状態	・作業場所が狭かった。	
	不安全な行動	・両手で持っていたグラインダーの右手を離してしまった。	
	安全管理上の欠陥	・グラインダー作業の安全教育が不十分であった。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・グラインダー作業の安全教育を行う。 ・狭い場所での作業はキックバック軽減機能付きグラインダーを使用する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り

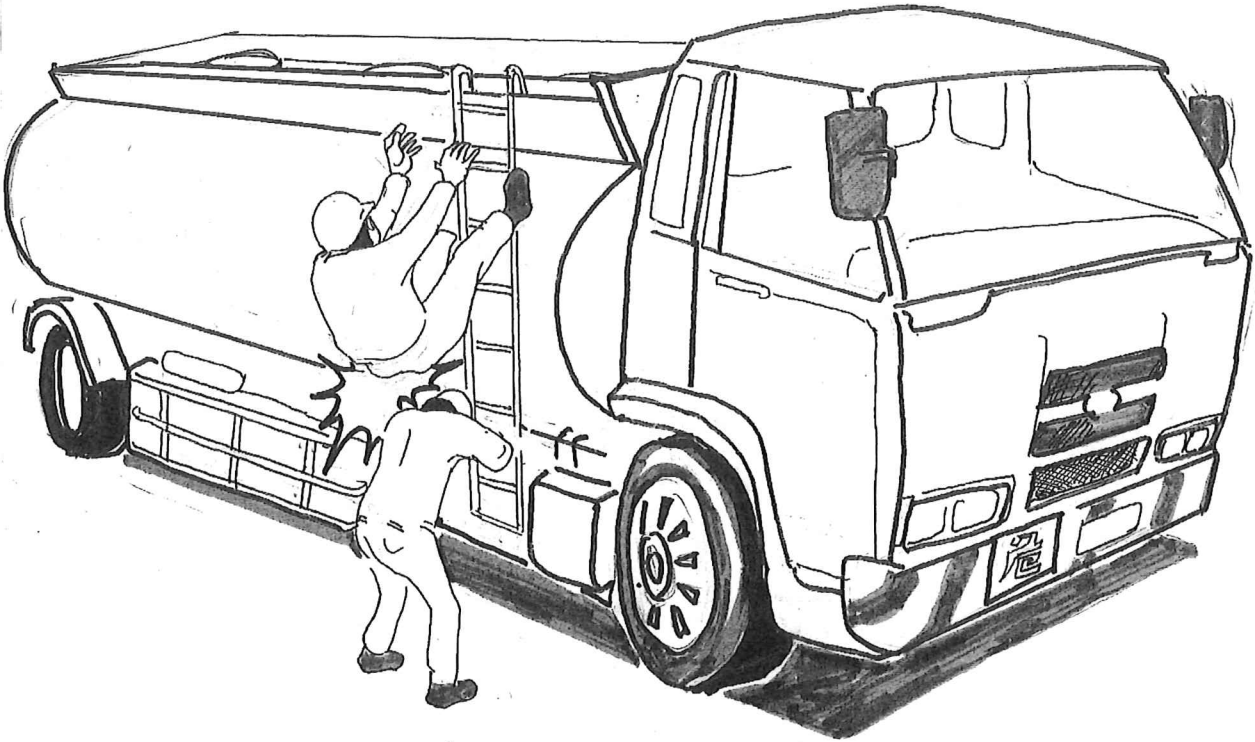


災害事例 (不休業 21)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	有り
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年10月22日(火) 19時30分		プラント内
職種: 年齢: 経験	作業員		43才 : 10年
発災時の作業内容	加熱炉のマンホール復旧作業においてマンホールの位置合わせをするためマンホール上側のボルトを通した後、下側のボルトを通そうとした際、マンホール(約25kg)が倒れ負傷した。		
傷病名: 部位: 程度	骨折		: 肋骨、左手(中指、小指) : 不休業
事故の型: 起因物	激突され		: マンホール
原因	不安全な状態	・上側のボルトは通していたがナットで固定されていなかった。	
	不安全な行動	・上側のボルトをナットで固定せずに下側のボルトを通そうとした。	
	安全管理上の欠陥	・マンホール復旧作業の教育が不十分だった。	
再発防止対策	・マンホール復旧作業の再教育を実施し、現地で確認指導を行う。		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

災害事例 (不休業22)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年10月23日(水)	9時10分	: プラント内
職種:年齢:経験	作業員	: 23才	: 2年4ヵ月
発災時の作業内容	潤滑油溶剤抽出装置の内部を洗浄していた時、皮膚全体に痛みを感じた。		
傷病名:部位:程度	薬傷(I度)	: 全身	: 不休業
事故の型:起因物	有害物等との接触	:	残存スラッジ
原因	不安全な状態	・残存スラッジに有害物が含まれていた。(客先)	
	不安全な行動	・有害物が含まれていることを知らずに作業を行った。	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> ・残存スラッジについて人体へのリスク評価をしていなかった。(客先) ・有害物が浸透しない作業衣の選択を指示していなかった。(客先) 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・残存スラッジについて人体へのリスク評価を行う。(客先) ・リスク評価を踏まえて作業手順書を作成(適正な保護具選定等)し、作業前の教育を行う。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			有り
			

災害事例 (不休業 23)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻: 場所	2024年11月4日(月)	11時15分	: プラント内
職種: 年齢: 経験	作業員	: 50才	: 32年
発災時の作業内容	遠心脱水機のオーバーホール作業で、バケット内から出る際にバケットが揺れたため後ろ向きに降りたところ、足が抜出配管のふたに掛かり、ふたがずれ開口部に足が入り負傷した。		
傷病名: 部位: 程度	挫創(16針縫合)	: 右脛	: 不休業
事故の型: 起因物	切れ、こすれ	:	遠心脱水機
原因	不安全な状態	<ul style="list-style-type: none"> ・バケットを固定していなかった。 ・昇降ステップがなかった。 ・ふたが固定されておらず安全養生が不十分であった。 	
	不安全な行動	<ul style="list-style-type: none"> ・段差がある作業場で足元を確認せず、後ろ向きに降りた。 	
	安全管理上の欠陥	<ul style="list-style-type: none"> ・バケットを固定させていなかった。 ・昇降ステップの使用を指示していなかった。 	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・バケットはクサビ等で固定して作業する。 ・昇降ステップを使用する。 ・ふたを固定する。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施			無し



災害事例 (不休業 24)		災害発生前にリスクアセスメントの実施	無し
年月日(曜日)時刻:場所	2024年12月13日(金) 11時20分		現場
職種:年齢:経験	運転士		62才 : 6年9ヵ月
発災時の作業内容	ローリーの荷下ろしを終えて残液確認を行うため、昇降はしごでローリー上部へ昇っている途中で足を滑らせ下部にいる作業員にぶつかりながら転落した。(約3m、下部作業員は負傷なし)		
傷病名:部位:程度	骨折		: 肋骨、背骨 : 不休業
事故の型:起因物	墜落、転落		: はしご
原因	不安全な状態	・昇降はしごの滑り止めテープが剥がれていた。	
	不安全な行動		
	安全管理上の欠陥	・滑り止めテープが剥がれているのを放置していた。	
再発防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降設備に滑り止めテープを取り付ける。 ・昇降時の手順、注意点および災害事例を織り込んだ手順書に改訂し、定期的に教育を行う。 		
再発防止対策に基づくリスクアセスメントの実施		有り	
			

令和6年死亡災害発生状況

NO.	発生日	業種	被災者		事故の型	起因物	発生状況
			職種	年齢(年代)			
1	1月	道路貨物運送業	運転者	60代	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、地上約3mのトラック荷台上で荷積み作業をしていたところ、荷台上から地面に墜落した。
2	3月	鉄鋼業	製造作業者	40代	はさまれ・巻き込まれ	一般動力機械	被災者は、造形工程の作業を行っていたところ、鑄型造形機に頭部をはさまれた。
3	3月	林業	集材作業者	50代	飛来・落下	用具	被災者は、山林にて集材機を使用して木材搬出作業を行っていたところ、集材機の荷吊り索が切れ、飛翔体に激突された。
4	4月	ビルメンテナンス業	清掃員	70代	墜落・転落	階段	被災者は、ハンディ型の掃除機を使用し階段の清掃作業中、階段を転落したものの。
5	4月	その他の建設業	はつり工	40代	墜落・転落	足場	被災者らは、足場の作業床上で作業中、作業によって生じた堆積物により作業床が崩壊し、底部まで墜落した。
6	4月	その他の建設業	はつり工	30代	墜落・転落	足場	同上
7	7月	その他の商業	廃品回収員	40代	はさまれ・巻き込まれ	トラック	被災者は、パッカー一車にペットボトルを投入する作業を行っていたところ、全身を回転板に巻き込まれた。
8	7月	その他の土木工事業	その他の作業者	40代	はさまれ・巻き込まれ	その他の動力運搬機	被災者は、手押式不整地運搬車で土砂を搬出するため、単管と板で組上げた傾斜路を後ろ向きの状態で下っていたところ転倒し、当該不整地運搬車に轢かれた。
9	7月	窯業・土石製品製造業	管理者	60代	その他	起因物なし	被災者は、事業場工場内で作業中、くも膜下出血により倒れ、救急搬送により治療を受けたが、搬送先の病院で死亡が確認された。
10	9月	その他の製造業	タンクローリー運転手	60代	溺れ	建築物・構築物	被災者は、工場排水の貯水槽内において、亡くなった状態で発見されたもの。当該貯水槽はコンクリート造で、外階段から天部に上がることができ、天部には貯水槽内への開口部が設けられていた。
11	10月	輸送用機械器具製造業	製造員	60代	はさまれ・巻き込まれ	射出成型機	被災者は、射出成型機の不具合調整のため、可動範囲内へ立ち入り入っていたところ、他の作業者が、作動操作をしたため、被災者の身体が射出成型機に挟まれた。
12	10月	その他の建設業	管理者	60代	交通事故(その他)	鉄道車両	被災者は、出張のため、鉄道駅構内において、列車に乗りとうと踏切遮断機をくぐったところ、通過する特急列車にはねられた。
13	11月	道路貨物運送業	運転者	60代	はさまれ・巻き込まれ	トラック	被災者は、駐車場でトレーラーとトラック本体を連結する作業中、トレーラーとトラックを連結したところ、車両が動き出したため停止せよとしたところ、その車両にひかれた。
14	12月	その他の土木工事業	土工	60代	激突され	掘削用機械	被災者は、ドラグショベルを用いた荷下ろし作業中、地上作業員としてトラックの荷台からつり上げられた資材を手で抑えていたところ、当該ドラグショベルが倒れ、アームと地面の間に挟まれた。
15	12月	道路貨物運送業	運転者	50代	交通事故(道路)	トラック	被災者は、トラックを運転し、高速道路のトンネルを走行中、渋滞により停止していたトレーラーに追突した。

令和6年 労働災害発生状況（死亡者数及び休業4日以上死傷者数）

四日市労働基準監督署
班

業種	起因物	合計	原動機	動力伝達機構	木材加工用機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	車両・自走式作業機等	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	圧力容器	化学設備	溶接設備	炉・窯等	電気設備	人力機械工具等	用具	その他の設備・装置	仮設物・構築物・構築物	危険物・有害物等	材料	荷	環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能
食品		(8) 806	2	10	(1) 7	18	(1) 40	22	(2) 73	(1) 62	1	7	3	6	3	2	16	5	(2) 230	2	26	30	28	3	(1) 111			
繊維工業・繊維製品		47					8				2																	
製木材・木製品		4		3			3																					
器具・装備		4					1																					
化学工業		21					2																					
窯業・土石	(1) 14						3																					
窯業・非鉄金属	(1) 16		1			2	(1) 2																			(1)	5	
金属工業	(1) 38		1			8	2																					
金属製品	(1) 13		1			2	2																					
一般機械器具	7																											
電気機械器具	31																											
輸送機械等	5																											
電気・ガス・水道業	5																											
自動車整備業・機械修理業	14																											
上記以外の製造業	(2) 218		2	5		15	(1) 27	16	9	12		3	16	15	2	51	1	10	8	4	(1) 22							
採石業	2																											
上記以外の鉱業	2																											
小計	(1) 19			2	(1) 4		2																					
土木工事	9																											
木造家屋建築工事	9																											
上記以外の建築工事	19			1	1																							
その他の建設業	(3) 47		1	1		1	1																					
小計	(4) 94		4	(1) 6	1	3		1	13	(1) 9	5	2	4	8	2	4												
旅客運送業	12																											
道路貨物運送業	(2) 102																											
陸路運送業	4																											
上記以外の運輸業	17																											
小計	(2) 135			1																								
農業・畜産業	6																											
林業	2																											
水産業	2																											
小計	8																											
小計	94			1																								
商業	17																											
うち新聞販売業	19																											
上記以外の商業	11																											
通信業	83																											
医療保健業・その他	24																											
旅館業	6																											
飲食店	19																											
ゴルフ場	12																											
上記以外の接客娯楽業	9																											
娯楽業	19																											
清掃業	6																											
上記以外の清掃業	8																											
小計	349					2	10	2	13	26	1	4	1	21	33	2	125	5	12	16	3	73						
小計	349					2	10	2	13	26	1	4	1	21	33	2	125	5	12	16	3	73						

資料出所 四日市労働基準監督署「死亡災害報告・労働者死傷報告」
注：()は、死亡者数を内数で示したものである。

令和6年 労働災害発生状況（死亡者数及び休業4日以上の死傷者数）

四日市労働基準監督署
確定

業種	年別	令和5年		令和6年		対前年比				
		死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡		死傷		
						人数	%	人数	%	
合計		2	831	8	806	+6人	+300.0%	-25人	-3.0%	
製造業	食料品		66		47			-19人	-28.8%	
	繊維工業		2		3			+1人	+50.0%	
	衣服その他の繊維		3		1			-2人	-66.7%	
	木材・木製品		1		4			+3人	+300.0%	
	家具・装備品		1		4			+3人	+300.0%	
	パルプ・紙加工品		7		1			-6人	-85.7%	
	印刷・製本		1		2			+1人	+100.0%	
	化学工業		13		21			+8人	+61.5%	
	窯業土石製品		20	1	14	+1人		-6人	-30.0%	
	鉄鋼業		9	1	11	+1人		+2人	+22.2%	
	非鉄金属		2		5			+3人	+150.0%	
	金属製品		27		38			+11人	+40.7%	
	一般機械器具		21		13			-8人	-38.1%	
	電気機械器具		12		7			-5人	-41.7%	
	造船業		1					-1人	-100.0%	
	造船業以外の輸送用機械		18		31			+13人	+72.2%	
	電気・ガス・水道業									
	自動車整備業・機械修理業		4		5			+1人	+25.0%	
	上記以外の製造業		8		11			+3人	+37.5%	
小計			216	2	218	+2人		+2人	+0.9%	
鉱業	採石業		1		2			+1人	+100.0%	
	上記以外の鉱業		1					-1人	-100.0%	
	小計		2		2			±0人	±0.0%	
建設業	土木工事		23	1	19	+1人		-4人	-17.4%	
	木造家屋等建築工事		8		9			+1人	+12.5%	
	木造家屋以外の建築工事	1	39		19	-1人	-100.0%	-20人	-51.3%	
	その他の建設業		26	3	47	+3人		+21人	+80.8%	
	小計	1	96	4	94	+3人	+300.0%	-2人	-2.1%	
運輸業	旅客運送業		9		12			+3人	+33.3%	
	道路貨物運送業	1	106	2	102	+1人	+100.0%	-4人	-3.8%	
	港湾運送業		2		4			+2人	+100.0%	
	上記以外の運輸業		18		17			-1人	-5.6%	
	小計	1	135	2	135	+1人	+100.0%	±0人	±0.0%	
第一次産業	林業		2		2			±0人	±0.0%	
	農業・畜産業		11		6			-5人	-45.5%	
	水産業									
小計		13		8			-5人	-38.5%		
第三次産業等	商業	小売業		86		94			+8人	+9.3%
		うち新聞販売業		8		17			+9人	+112.5%
		上記以外の商業		28		19			-9人	-32.1%
	通信業		12		11			-1人	-8.3%	
	保健衛生業	社会福祉施設		64		83			+19人	+29.7%
		医療保健業・その他		20		24			+4人	+20.0%
	接客娯楽業	旅館業		5		6			+1人	+20.0%
		飲食店		41		19			-22人	-53.7%
		ゴルフ業		12		12			±0人	±0.0%
		上記以外の接客娯楽業		11		9			-2人	-18.2%
		ビルメンテナンス業		11		5			-6人	-54.5%
	清掃業	産業廃棄物処理業		17		19			+2人	+11.8%
		上記以外の清掃・と畜業		8		6			-2人	-25.0%
	警備業		12		8			-4人	-33.3%	
	上記以外		42		34			-8人	-19.0%	
	小計			369		349			-20人	-5.4%

資料出所 四日市労働基準監督署「死亡災害報告・労働者死傷病報告」

注：死亡者数は内数であらわしたものを。

新型コロナウイルス感染症のり患者数(令和5年:76人、令和6年:43人)を除く。

教育部会報告

2024年度の教育部会の関連事業は、事業計画通りに実施することができました。

これもひとえに、四日市労働基準監督署をはじめ、コンビナート元方企業の皆様の温かいご支援・ご指導のたまものと厚く御礼申し上げます。

本年度に実施しました事業内容は以下の通りです。

教育内容		開催日	履修者	開催場所
第94回	職長・安全衛生責任者教育	2024.08.27~28	24名	昭四 塩浜クラブ
第95回	職長・安全衛生責任者教育	2025.02.18~19	16名	昭四 塩浜クラブ
第96回	職長・安全衛生責任者教育	2025.05.27~28	名	昭四 塩浜クラブ
第89回	実践KYT教育	2024.07.23	17名	昭四 塩浜クラブ
第90回	実践KYT教育	2024.10.22	9名	昭四 塩浜クラブ
第91回	実践KYT教育	2025.01.21	18名	昭四 塩浜クラブ
講師	職長・安全衛生責任者教育 小林 繁行氏・渡邊 健治氏・中西 伸一氏 実践KYT教育 寶 幸夫氏・中西 伸一氏			
研 修 演 講 会	2024.11.07		72名	四日市市文化会館
	講師 KHネオケム(株)四日市工場 環境保安部マネジャー 小林 俊介 様 三重労働局 雇用環境・均等室 フリーランス就業環境整備指導員 竹花 秀計 様 四日市労働基準監督署 安全衛生課長 平田 幸弘 様 四日市労働基準監督署 第一方面主任監督官 北島 久也 様			

2024年度の活動は、会員各社様のご協力によりすべての活動を予定通り実施する事が出来ました。

職長・安全衛生責任者教育3回、実践KYT教育3回を計画通り開催し、ほぼ定員で参加していただきました。また、研修講演会は、人数制限なく予定通り11月に実施し、講演内容は、KHネオケム株式会社様より「KHネオケムにおける安全活動」、三重労働局様より「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(フリーランス・事業者間取引適正化等法)について」、四日市労働基準監督署様より「建設業に適用される労働関係法令について」、「労働災害同行と再発防止等について」の4つのテーマで、有意義な講演を行っていただきました。改めまして感謝申し上げます。

各教育部会活動に参加された方々が、得られました知識・情報を各社内で活用していただき、労働安全衛生の推進・強化に繋がっていただければと思います。

2025年度につきましても、教育部会委員をはじめ関係者一同、会員各社様の安全衛生活動向上のお役に立てるよう進めてまいりますと共に、引き続き皆様のより一層のご協力をいただきたく、宜しくお願い申し上げます。ご安全に！

教育部会長 / 三菱ガス化学(株)四日市工場安全衛生協力会代表
山九(株) 満仲 裕二

教育部会委員

＝五十音順＝

石原エンジニアリングパートナーズ(株) = 石原産業(株)四日市工場災害防止協議会代表
エヌ・シー・ユー物流(株) = KHネオケム(株)四日市工場安全協力会代表
山 九 (株) = 三菱ガス化学(株)四日市工場安全衛生協力会代表
東ソー霞エンジニア(株) = 東ソー(株)四日市事業所安全協議会代表
中日本建設(株) = 第一工業製薬(株)四日市工場災害防止協議会代表
日本トランスシティ(株) = 丸善石油化学(株)四日市工場安全衛生協力会代表

事故事例研究部会委員

御 指 導 : 四日市労働基準監督署 安全衛生課長 平 田 幸 弘 様
イラスト担当 : 新 川 和 明 様

＝五十音順＝

味の素エンジニアリング(株) = 味の素(株)東海地区安全衛生協議会代表
エムイーシーテクノ(株) = 三菱ケミカル(株)東海事業所安全衛生協議会代表
山 九 (株) = ENEOSマテリアル/JSR 四日市工場総合災害防止協議会
山 九 (株) = コスモ石油四日市製油所工事安全協力会代表
山 九 (株) = 三菱ガス化学(株)四日市工場安全衛生協力会代表
昭 永 工 業 (株) = D I C (株) 四日市工場安全衛生協力会代表
(株) 第 一 工 務 店 = 上野製薬(株)四日市工場安全衛生協力会代表
東 ソ ー 霞 エ ン ジ (株) = 東 ソ ー (株) 四日市事業所安全協議会代表
東邦ガスエンジニアリング(株) = 東邦ガス(株)四日市工場安全衛生協議会代表

お わ り に

「労働災害事例研究」第44集が完成したのでお届けいたします。
令和6年の災害件数は、当連絡協議会（14協議会）に所属する会社（481社）において、休業災害11件（内、死亡災害2件）、不休業災害25件でした。

災害の特徴として、死亡災害1件はボイラー内の清掃作業において足場崩落により25mの高さから2名の作業員が墜落したものです。休業災害は令和5年の6件に対し令和6年は11件と5件の増加となりました。型別でみると「転倒」4件、「墜落、転落」2件が発生しており全体の半数を占めております。また、不休業災害については、令和6年の20件に対して25件と5件の増加となりました。型別でみると、「墜落、転落」、「激突され」各4件、「切れ、こすれ」、「高温、低温の物との接触」、「転倒」各3件、および「はさまれ、巻き込まれ」、「有害物等との接触」、「飛来、落下」、「激突」で各2件となっております。

第44集を含め、過去の事例等を振り返りますと、労働災害の原因は、慣れた作業での安全意識の欠如、若年者等経験が浅い作業員や高齢者への安全配慮の不足などに起因するものが多く、作業を依頼する側から作業をされる方々への、安全への高い意識付けや安全配慮および法律や規則、決められたルールの教育等の不足も、原因の背景に潜んでいるのではないかと思います。

会員の皆さま方には、共に働く仲間に対して、絶対に「怪我をしない・させない」意識のもと、危険への感受性を高める教育や、事前のリスクアセスメント・現場での危険予知等また類似災害や繰り返し災害の未然防止に、本事例集をご活用いただければと思います。

最後に、公務ご多忙の中、当事例研究会をご指導いただきました四日市労働基準監督署安全衛生課長の平田様およびご熱心に討議いただきました各委員・関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。

令和7年6月

事故事例研究部会長／東ソー（株）四日市事業所安全協議会代表
東ソー霞エンジ（株） 佐藤 敏之

四日市コンビナート協力会社災害防止協議会等連絡協議会

会 員 名 簿

※ ◎印は幹事 ☆印は教育部会 ★印は事故事例研究部会

協議会名	住所 TEL	代表者	事務所
味の素(株)東海地区安全衛生協議会	四日市市大字日永1730 味の素(株)東海事業所内 Tel. 346-0118	坂田敏則	倉橋孝治
味の素エンジニアリング(株)東海事業所	四日市市大字日永1730 味の素(株)東海事業所内 Tel. 346-0118	坂田敏則	
石原産業(株)四日市工場災害防止協議会	四日市市石原町1 Tel. 345-6127	山下育生	大崎雅樹
石原エンジニアリング(株)パートナーズ(株)	四日市市石原町1 Tel. 345-1341	山下育生	田中 明
上野製薬(株)四日市工場安全衛生協力会	四日市市霞1-4 上野製薬(株)四日市工場内 Tel. 364-3041	水野利明	吉田雅一
榎村山電気工事	四日市市日永西2丁目5-20 Tel. 345-1246	水野利明	油谷憲二
ENEOSマテリアル/JSR 四日市工場総合災害防止協議会	四日市市川尻町100 Tel. 344-0118	隈丸貴公	伊藤純司
山九(株)	四日市市御園町1-3-1 Tel. 345-0804	隈丸貴公	吉松浩二
KIハネオケム(株)四日市工場安全協力会	四日市市大協町2-3 Tel. 331-0599	後藤 真	萩野治文
エヌ・シー・ユー物流(株)四日市支店	四日市市大協町2-3 Tel. 331-0631	後藤 真	森 健一
コスモ石油四日市製油所工事安全協力会	四日市市大協町一丁目一番地 Tel. 354-8743	隈丸貴公	
山九(株)	四日市市御園町1-3-1 Tel. 345-3111	隈丸貴公	
昭和四日市石油(株)四日市製油所安全協力連絡会	四日市市塩浜町1 Tel. 346-1283	新堂久雄	新堂久雄
昭永工業(株)	四日市市塩浜町1 Tel. 345-1481	岩野淳作	(専従)

2025年4月1日

協議会名	住所 TEL	代表者	事務所
第一工業製薬災害防止協議会	四日市市霞1丁目2番5 Tel. 366-7172	福田 龍雄	平岡武司
DIC(株)四日市工場安全衛生協力会	四日市市霞1-5 Tel. 364-2251	吉田真一郎	谷本啓輔
東ソー安全協議会	四日市市霞1-1 Tel. 364-8373	山本英雄	
東邦ガス(株)四日市工場安全衛生協議会	四日市市霞1-22-5 Tel. 364-4566	鬼頭真史	稲垣隆宏
丸善石油化学(株)四日市工場安全衛生協力会	四日市市霞1-3 Tel. 364-1171	隈丸貴公	
三菱瓦斯化学(株)四日市工場安全衛生協力会	四日市市日永東2-4-16 Tel. 345-8808	隈丸貴公	渡辺博史
三菱ケミカル(株)東海事業所安全衛生協議会	四日市市東邦町1 Tel. 345-7374	代表者	鶴崎正典
エムイーシーテック(株)中部事業所	四日市市東邦町1 Tel. 345-7274	代表者	(専従)
岩下 豪			原岡道昭

会員=14協議会(協力会) 481構成会社